

講座事後に実施された リフレクション取りまとめた情報

令和5年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」
一般社団法人 全国専門学校教育研究会 授業改善サポーター養成講座開発委員会
「教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進」

目次

内容

1. 概要.....	3
2. 趣旨・目的.....	3
3. 「授業改善サポーター」の定義.....	3
4. 「授業改善サポーター養成講座 事後アンケート（3回）」.....	5
4.1. 調査概要.....	5
4.2. 「授業改善サポーター養成講座」の定義.....	5
4.3. 調査対象.....	6
4.4. 調査日程.....	6
4.5. 調査手順.....	6
5. アンケート調査結果.....	8
5.1. 9段階評価アンケート.....	9
5.2. 研修の実施方法および内容についてのアンケート.....	25
6. 令和6年度に向けた講座の課題点.....	53
7. 令和6年度に向けた講座の改善点.....	55

1. 概要

この調査は、文部科学省委託事業 令和5年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」における3. 授業改善サポーター養成講座開発委員会「教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進」の取り組み（以後、「本事業」）の一環として実施されたものである。

本事業では、授業の観察や評価、教員のカウンセリングやコーチング、授業改善に関するアドバイスや提言の提供、教員の授業計画や教材の開発支援等ができる人材「授業改善サポーター」を育成することを目指す。そのために①授業改善サポーターの資質・要件に関する調査の実施、②暫定版授業改善サポーター養成講座の開発・実施、③講座実施後のリフレクション情報の収集をすることで、自校の職員の指導力向上に向けた課題等を把握し、必要な研修を企画設計するための手順や必要な知識、スキルを学ぶことを目指す。

本報告書は、授業改善サポーター養成講座開発委員会（以後、「委員会」）により「授業改善サポーター養成講座事後アンケート（3回分）」を実施し、分析・検討したものをまとめたものである。

2. 趣旨・目的

本調査報告書は、「授業改善サポーター養成講座」における受講生のアンケートをまとめ、授業改善サポーター養成講座の課題点と改善点を明らかにすることが目的である。そして、令和6年度以降における講座の改善の一助とする。

3. 「授業改善サポーター」の定義

「授業改善サポーター」とは、授業の観察や評価、教員のカウンセリングやコーチング、授業改善に関するアドバイスや提言の提供、教員の授業計画や教材の開発支援等ができる人材のことを指す。また、「授業改善サポーター」が、自校の知見のみならず、他校の知見も共有することにより効果的で質の高い教育を実施することを期待されている。

また、アンケート調査と半構造化インタビューを実施した結果、以下が資質・要件であることが仮説立てられた。

1. 退学や不登校の問題を抱える学生や学生のレベル差を埋める方法を理解していること
2. 学外（社会）状況を適切に把握し学内での就職指導に役立てること
3. 授業の質（検定合格率の向上、学生の理解度を上げる等）を向上するためのアドバイスを適切に行えること
4. 教員が意図せず抱えている問題を発見できること

5. 教員間のコミュニケーションのきっかけを作れること
6. ICT機器のことを理解し教員にアドバイスを適切に行えること
7. 教員のモチベーションを下げずに、適切なアドバイスができること

なお、「授業改善サポーター養成講座」は、「授業改善サポーター」を育成するために実施した3回にわたる研修である。特に、他の教員のニーズと合わせて適切な方法で授業改善のための支援を行うことを目指した。また、本講座は、上述した資質・要件を満たすために、以下の目標を設定した。

- ・ 授業改善サポーターとして、各種ツールを活用して授業改善のためのコンサルテーションを行うことができる
- ・ 自校における授業コンサルテーションの普及を目指した施策を、個人レベル、組織レベルで提案することができる
- ・ 授業改善サポーターとして相談し支援し合えるコミュニティを形成する

4. 「授業改善サポーター養成講座 事後アンケート（3回）」

4.1. 調査概要

「授業改善サポーター養成講座 事後アンケート（3回）」とは、3回にわたる授業改善サポーター養成講座に参加した教員15名を対象とし、講座終了直後に実施した3回分のアンケート調査を指す。アンケート結果は、自動集計用Webアプリケーション（Google Forms）を利用し、集計した。

なお、アンケート調査項目については、本事業の実態調査ワーキンググループにて検討したうえで確定し、アンケート調査結果についても、同WGにて分析・検討を行った。

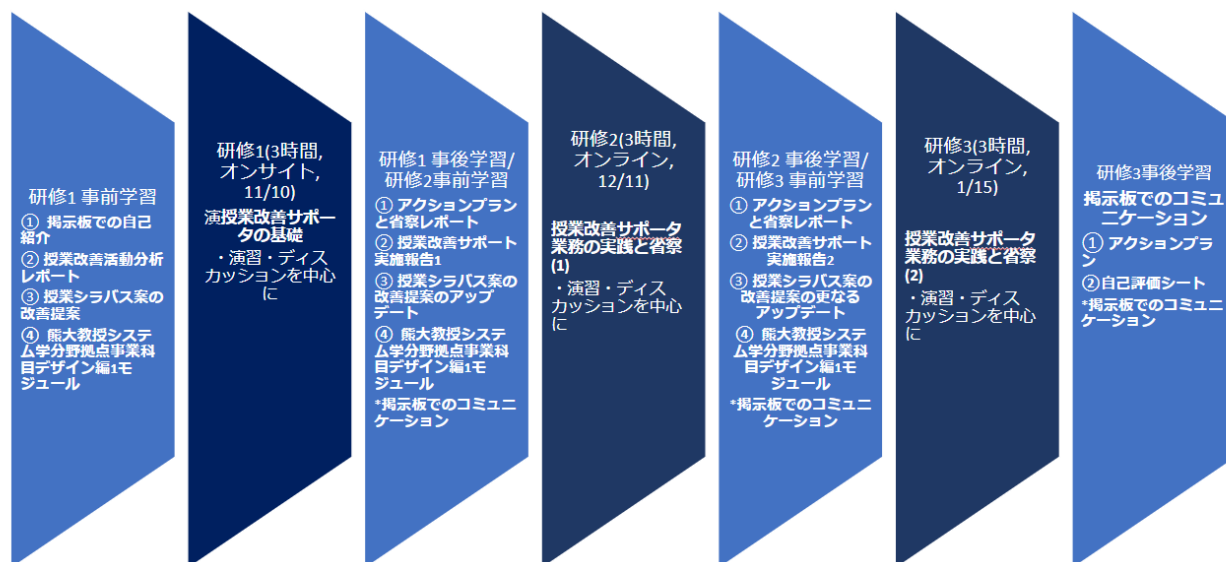
4.2. 「授業改善サポーター養成講座」の定義

「授業改善サポーター養成講座」（以下、「講座」）とは、授業改善サポーターを育成するための講座である。講座は研修1、研修2、研修3の3部構成であり、詳細は以下のとおりである。また、各研修ごとに事前・事後課題も用意した。さらに、教職員と研修担当とのコミュニケーションは、研修1では学習管理システム（LMS）Moodleを用い、研修2、研修3ではDiscord¹を利用した。

	研修1	研修2	研修3
日程	令和5年11月10日（金）	令和5年12月11日（月）	令和6年1月15日（月）
時間	13時～16時	13時～16時	13時～16時
形式	対面（福岡）	オンライン（Zoom）	オンライン（Zoom）
コミュニケーションツール	LMS（Moodle）	Discord	Discord

¹ Discordとは、コミュニティ醸成のための無料の音声、テキスト、ビデオチャットプラットフォームのことを指す。

事前学習、事後学習と研修1、研修2、研修3の流れは以下のとおりである。



4.3. 調査対象

講座参加者（以後、「受講生」）15名

4.4. 調査日程

研修1アンケート：令和5年11月10日（金）

研修2アンケート：令和5年12月11日（月）

研修3アンケート：令和6年1月15日（月）

いずれも研修終了直後に収集した。

4.5. 調査手順

(1) アンケート調査項目の検討と整理

- ・授業改善サポーター養成講座開発委員会 第2回ワーキンググループ（令和5年9月25日（月））にてアンケート調査項目を検討
- ・委員からのアンケート項目案への修正・追加等の意見を反映

(2) アンケートフォームの作成

- ・回答を容易にするため、アンケート結果の自動集計用Webアプリケーション（Google Forms）を用いたアンケートフォームの作成
- ・アンケートフォームのURLは、アンケート依頼文と共に送付

(3) アンケート調査への回答を依頼

- ・研修1、研修2、研修3終了直後にアンケートへの回答を依頼

(4) アンケート調査結果の分析・検討

- ・研修1の事後アンケートは授業改善サポーター養成講座開発委員会 第3回ワーキンググループ（令和5年11月27日（月））にて分析・検討
- ・研修2、研修3の事後アンケートは授業改善サポーター養成講座開発委員会 第4回ワーキンググループ（令和6年1月29日（月））にて分析・検討

(5) 授業改善サポーター養成講座の課題点と改善点の再検討

- ・研修1、研修2、研修3のアンケート結果を踏まえて、授業改善サポーター養成講座の課題点と改善点を分析・検討

5. アンケート調査結果

実施者：一般社団法人 全国専門学校教育研究会

事業名：文部科学省委託事業 令和5年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」 「教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進」

アンケート調査への回答期間：各講座終了後

依頼数：15名

回収数：15名

回答者数：15名

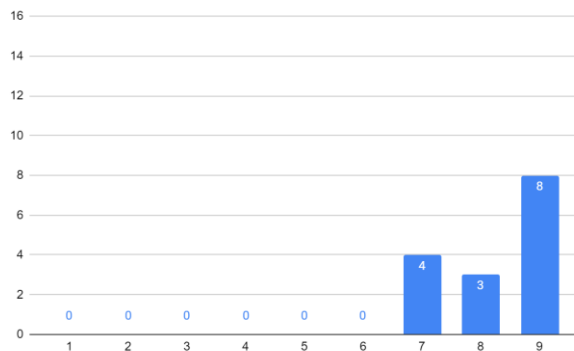
※「6-6-1. 9段階評価アンケート」における数値平均、標準偏差は小数点第二位を四捨五入する

5.1. 9段階評価アンケート

(1) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのくらい近い印象を持ちましたか？

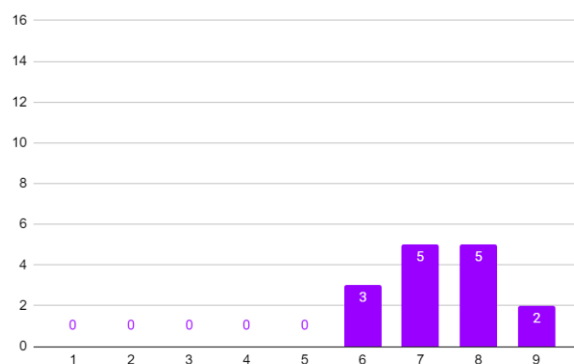
ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。(1…つまらなかった 9…おもしろかった)

研修1



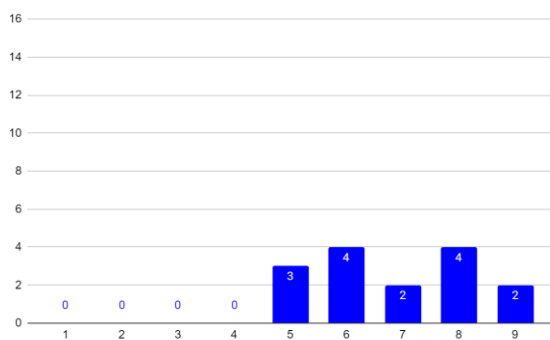
平均：8.27 標準偏差：0.88

研修2



平均：7.40 標準偏差：0.99

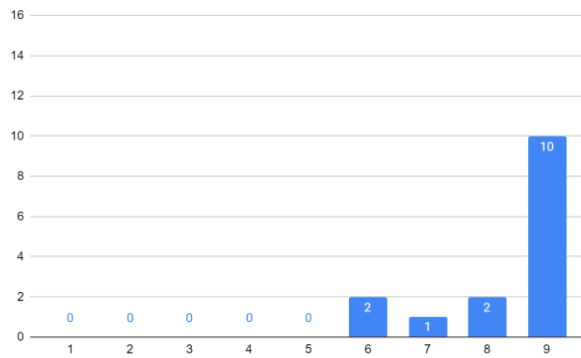
研修3



平均：6.87 標準偏差：1.40

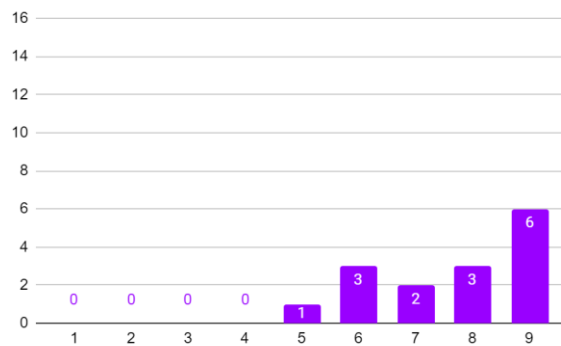
(2) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？
ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。(1…眠かった 9…眠くならなかった)

研修1



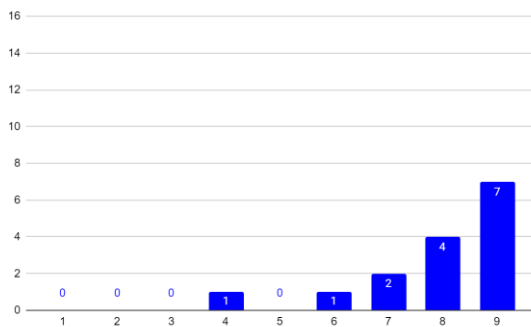
平均：8.33 標準偏差：1.11

研修2



平均：7.67 標準偏差：1.40

研修3

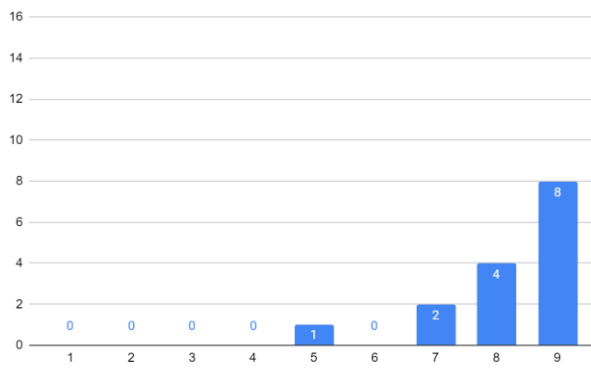


平均：7.93 標準偏差：1.44

(3) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？
ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

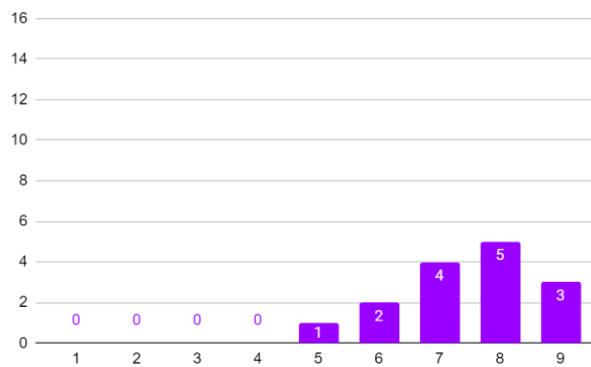
(1…好奇心をそそられなかった 9…好奇心をそそられた)

研修1



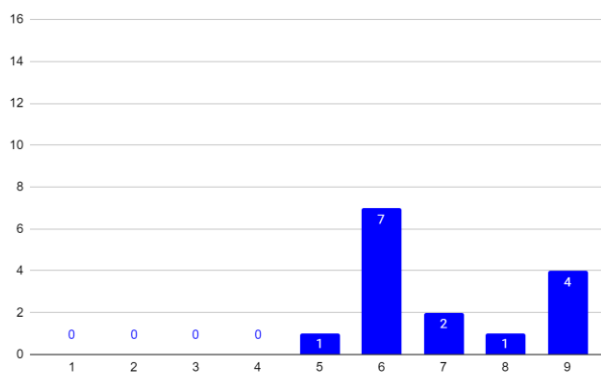
平均：8.2 標準偏差：1.15

研修2



平均：7.47 標準偏差：1.19

研修3



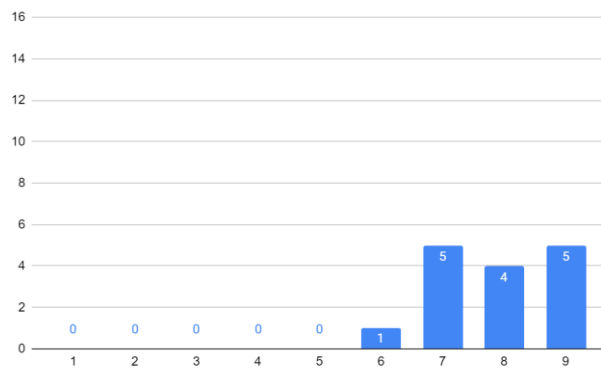
平均：7.0 標準偏差：1.41

(4) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

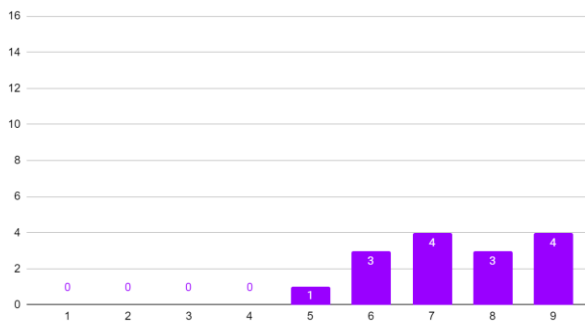
(1…マンネリだった 9…変化に富んでいた)

研修1



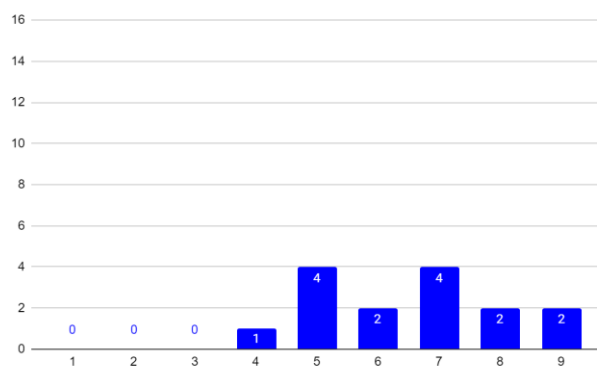
平均：7.87 標準偏差：0.99

研修2



平均：7.40 標準偏差：1.30

研修3



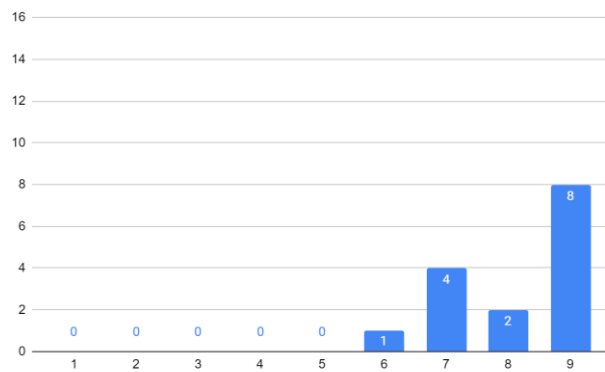
平均：6.53 標準偏差：1.55

(5) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

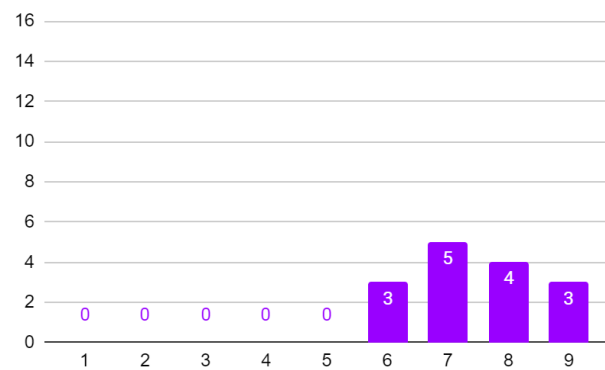
(1…やりがいなかった 9…やりがいがあった)

研修1



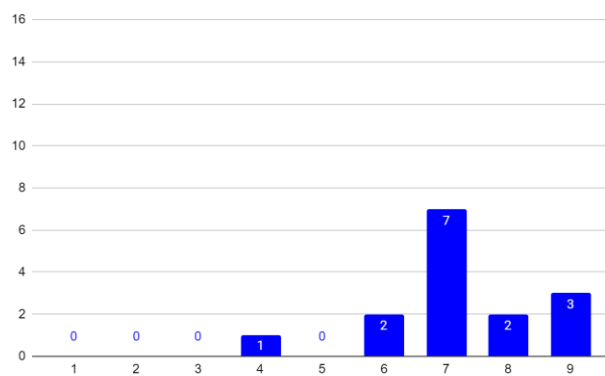
平均 : 8.13 標準偏差 : 1.06

研修2



平均 : 7.47 標準偏差 : 1.06

研修3



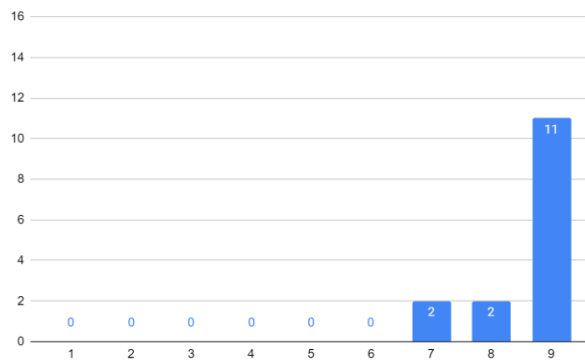
平均 : 7.20 標準偏差 : 1.32

(6) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

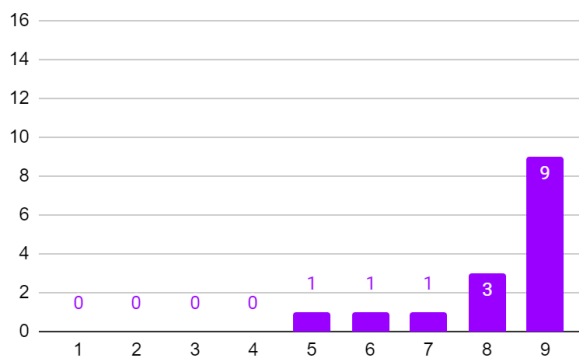
(1…自分には無関係だった 9…自分に関係があった)

研修1



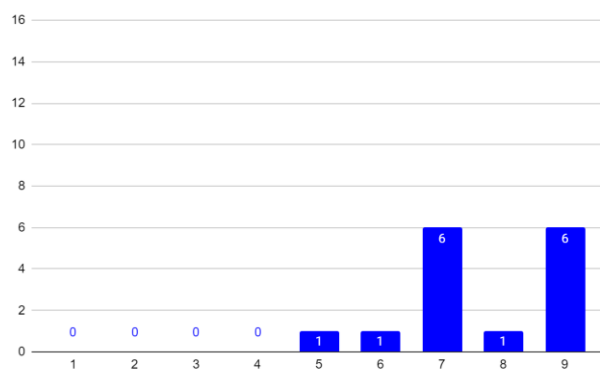
平均：8.60 標準偏差：0.74

研修2



平均：8.20 標準偏差：1.26

研修3

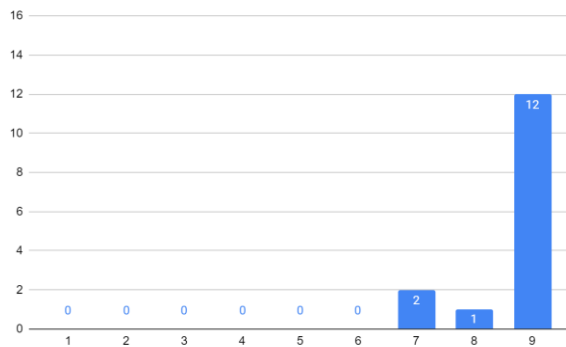


平均：7.67 標準偏差：1.29

(7) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？
ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

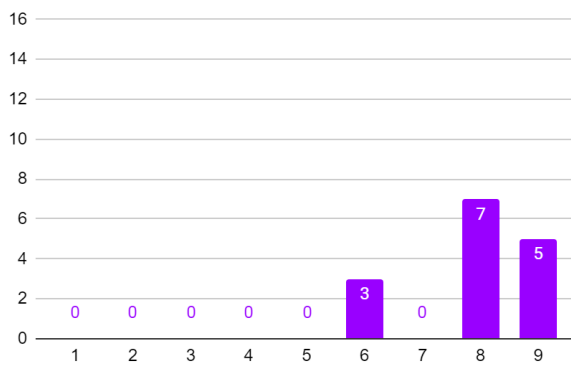
(1…どうでもいい内容だった 9…身につけたい内容だった)

研修1



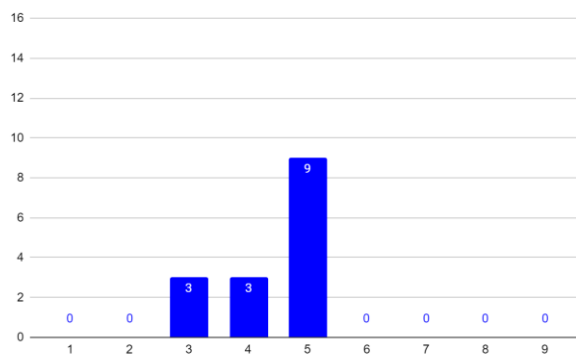
平均：8.67 標準偏差：0.72

研修2



平均：7.93 標準偏差：1.10

研修3

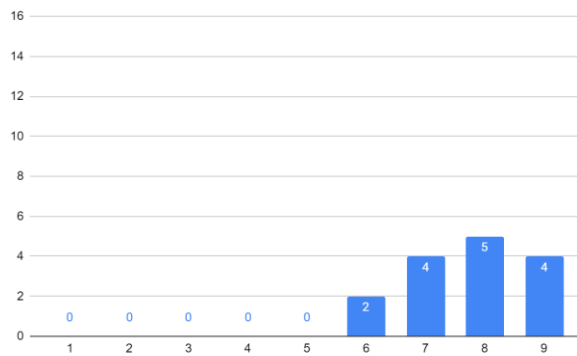


平均：4.40 標準偏差：0.82

(8) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？
ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

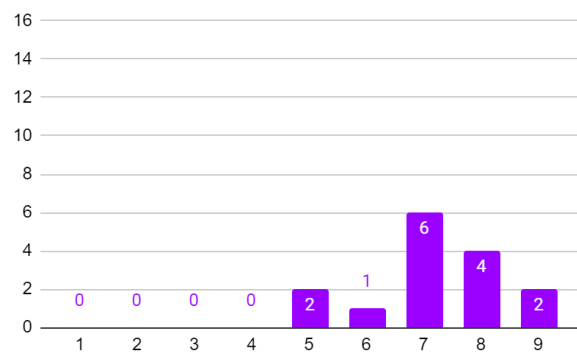
(1…途中の過程が楽しくなかった 9…途中の過程が楽しかった)

研修1



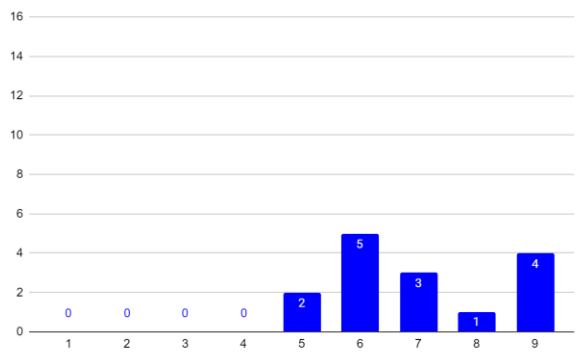
平均：7.73 標準偏差：1.03

研修2



平均：7.20 標準偏差：1.21

研修3



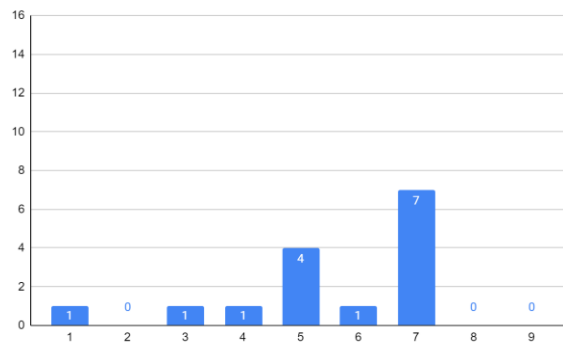
平均：7.0 標準偏差：1.46

(9) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

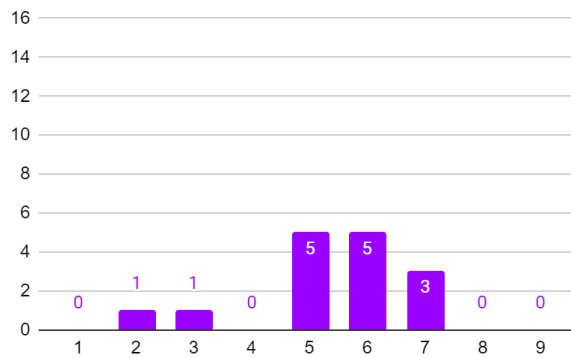
(1…自信がなかった 9…自信がたった)

研修1



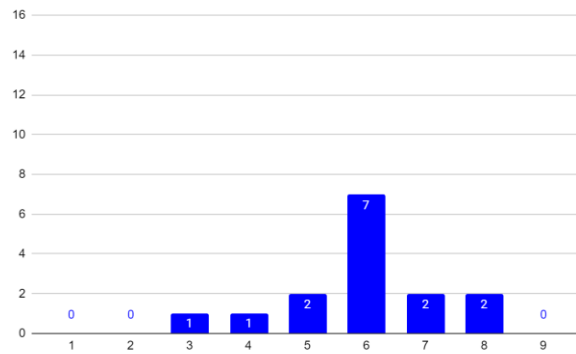
平均：5.53 標準偏差：1.81

研修2



平均：5.40 標準偏差：1.40

研修3



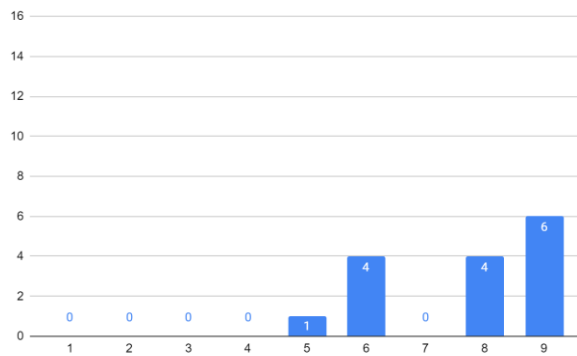
平均：5.93 標準偏差：1.33

(10) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

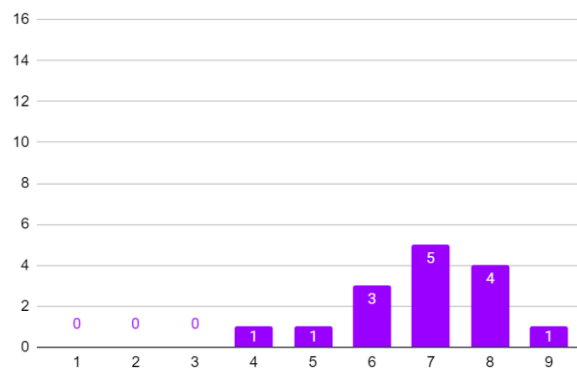
(1…目標があいまいだった 9…目標がはっきりしていた)

研修1



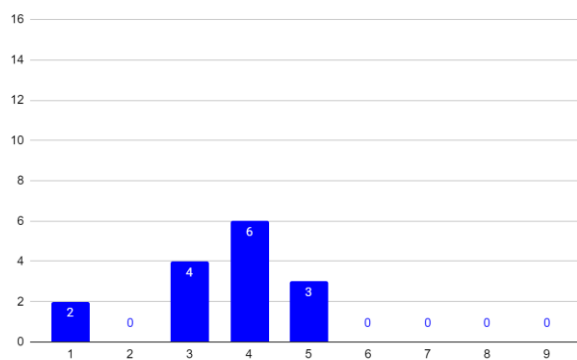
平均：7.67 標準偏差：1.45

研修2



平均：6.87 標準偏差：1.30

研修3



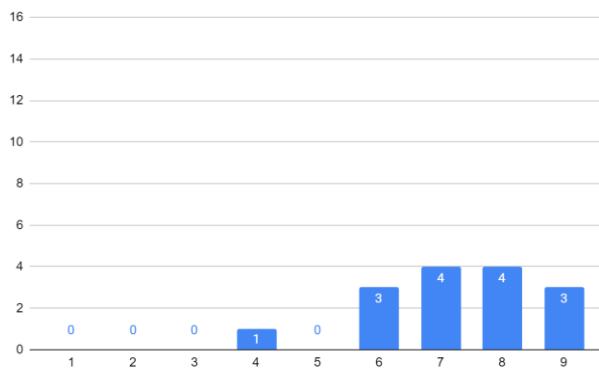
平均：7.27 標準偏差：1.33

(11) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

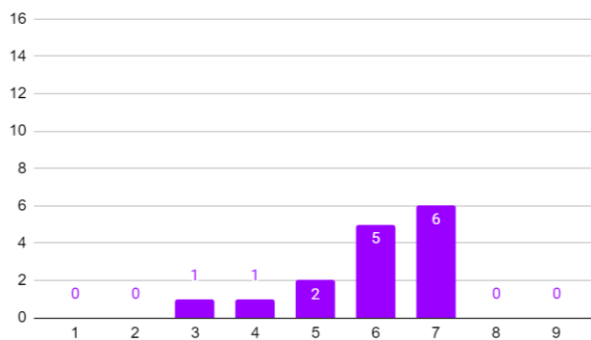
(1…学習を着実に進められなかった 9…学習を着実に進められた)

研修1



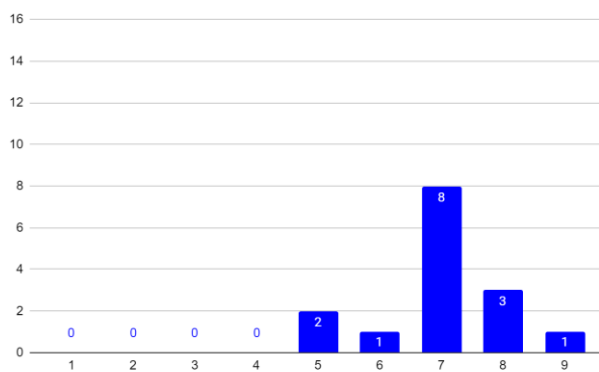
平均：7.27 標準偏差：1.39

研修2



平均：5.93 標準偏差：1.22

研修3



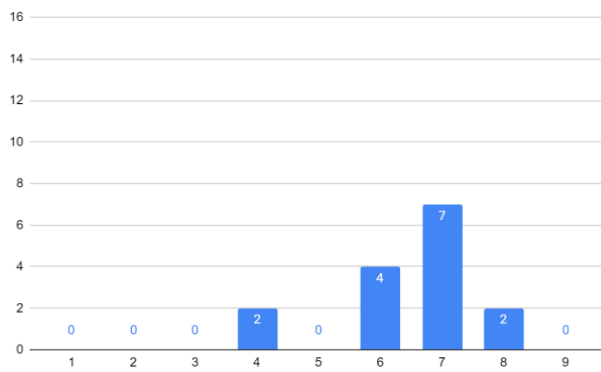
平均：3.53 標準偏差：1.25

(12) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

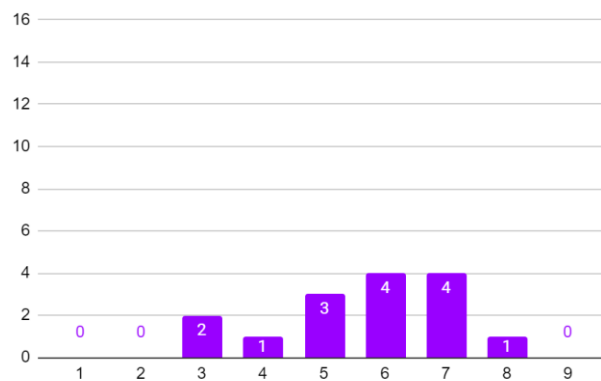
(1…自分なりの工夫が出来なかった 9…自分なりの工夫が出来た)

研修1



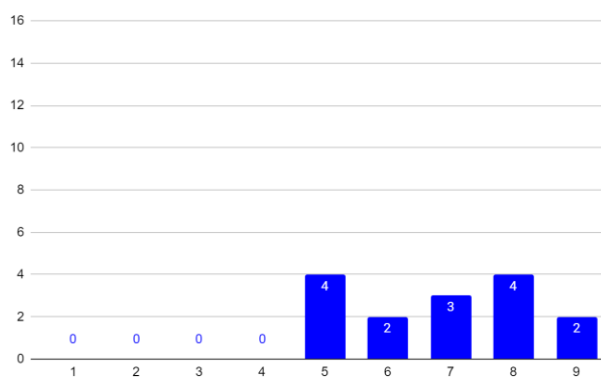
平均：6.47 標準偏差：1.187

研修2



平均：5.67 標準偏差：1.50

研修3



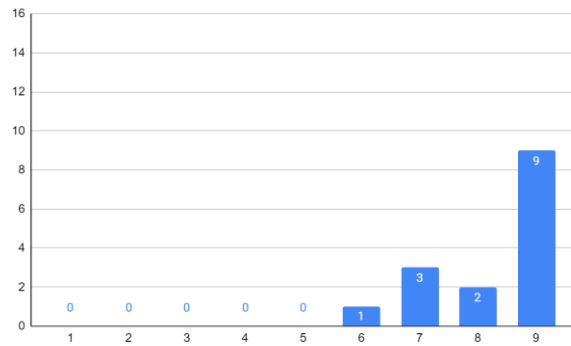
平均：6.40 標準偏差：1.99

(13) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

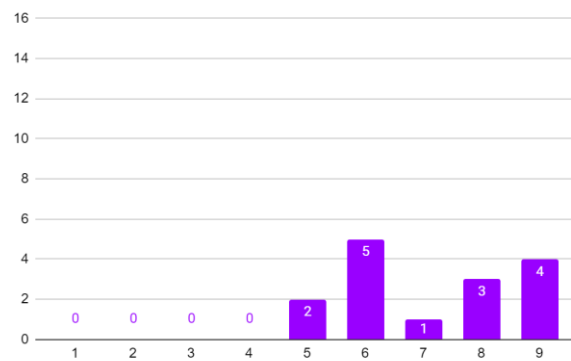
(1…不満が残った 9…やってよかった)

研修1



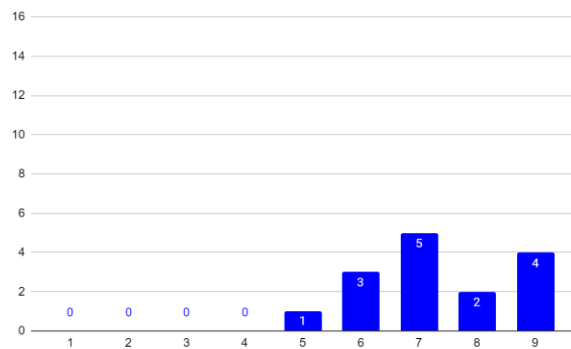
平均：8.27 標準偏差：1.03

研修2



平均：7.13 標準偏差：1.51

研修3



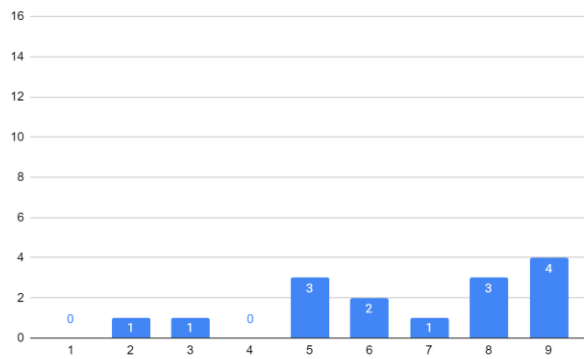
平均：7.33 標準偏差：1.29

(14) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのぐらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

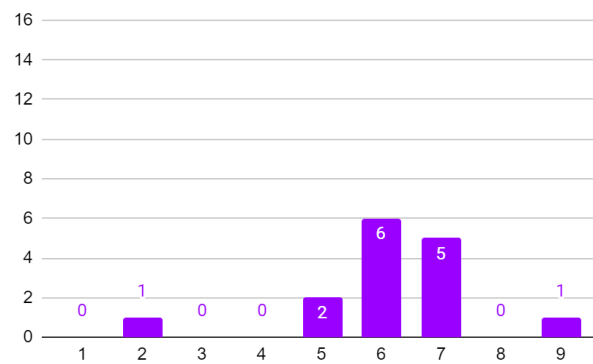
(1…すぐには使えそうもない 9…すぐに使えそう)

研修1



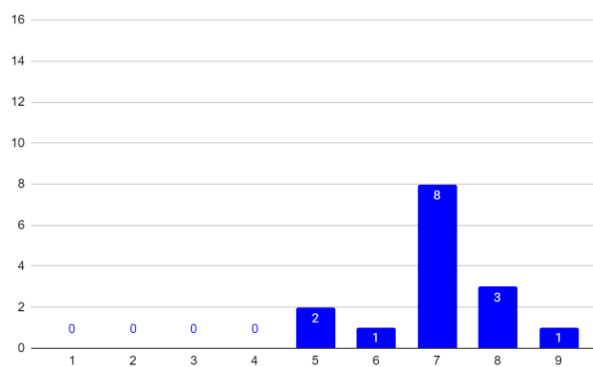
平均：6.6 標準偏差：2.26

研修2



平均：6.13 標準偏差：1.51

研修3



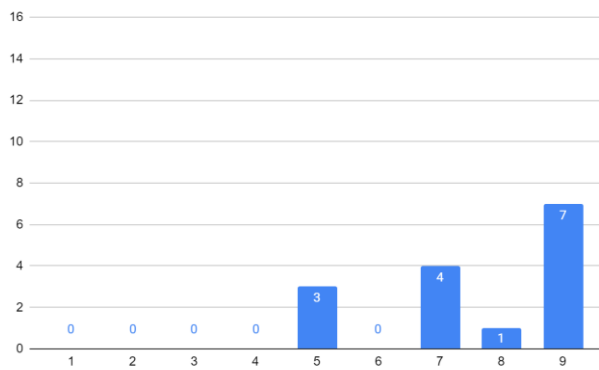
平均：7.0 標準偏差：1.069

(15) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのくらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

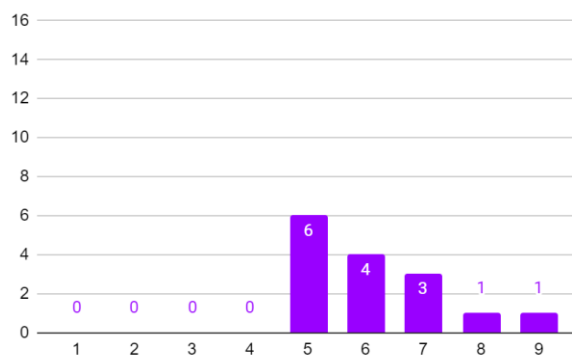
(1…できても認めてもらえなかった 9…できたら認められた)

研修1



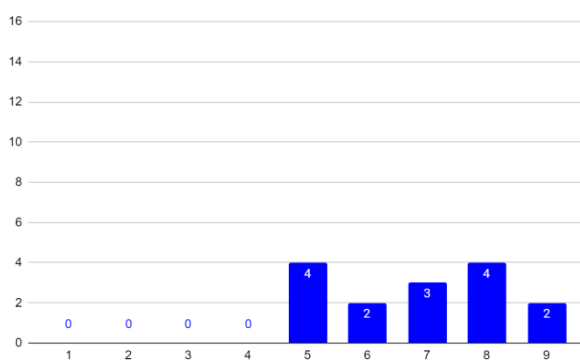
平均：7.6 標準偏差：1.59

研修2



平均：6.13 標準偏差：1.25

研修3



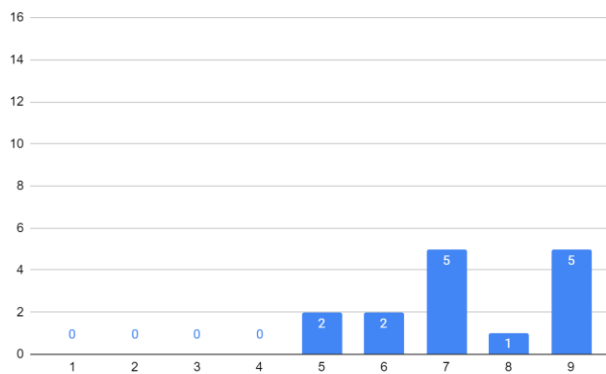
平均：6.87 標準偏差：1.46

(15) この研修全体について、次の状態のどちらかにどのくらい近い印象を持ちましたか？

ご自身の印象に最も近い番号を選んでください。

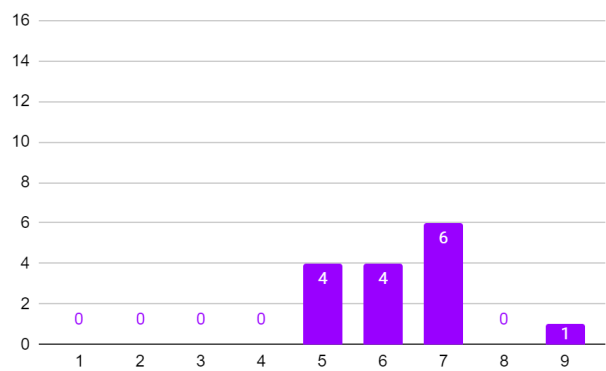
(1…評価に一貫性が無かった 9…評価に一貫性があった)

研修1



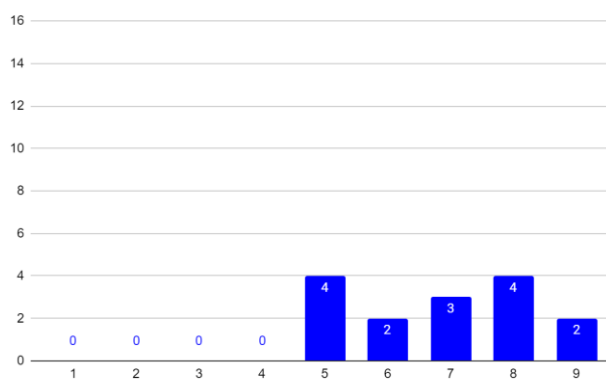
平均 : 7.33 標準偏差 : 1.44

研修2



平均 : 6.33 標準偏差 : 1.11

研修3

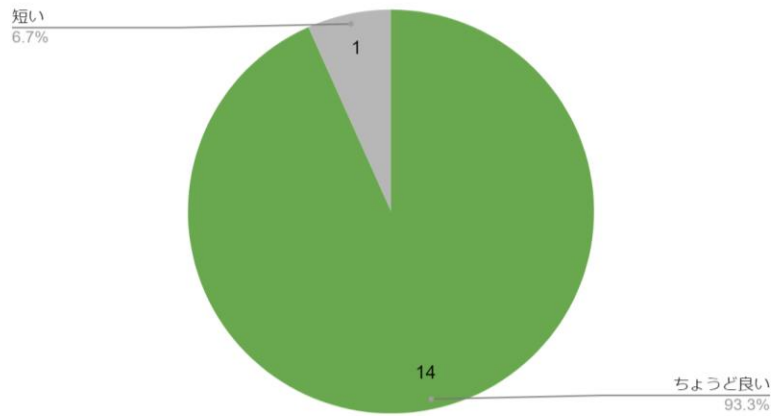


平均 : 6.87 標準偏差 : 1.46

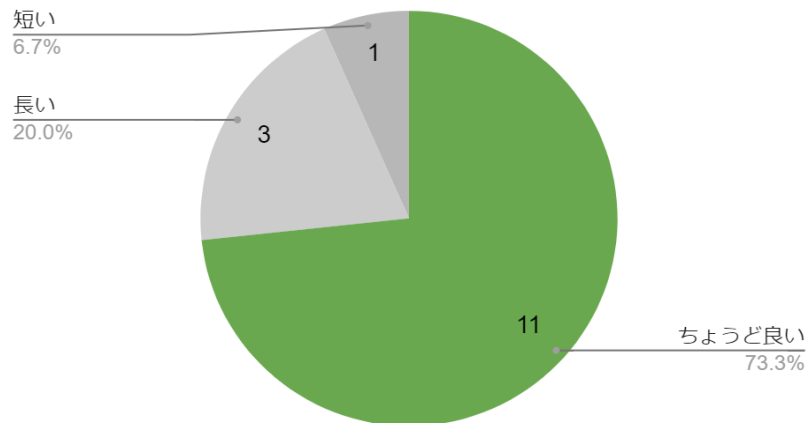
5.2. 研修の実施方法および内容についてのアンケート

2a. 今日の研修の長さはいかがでしたか。

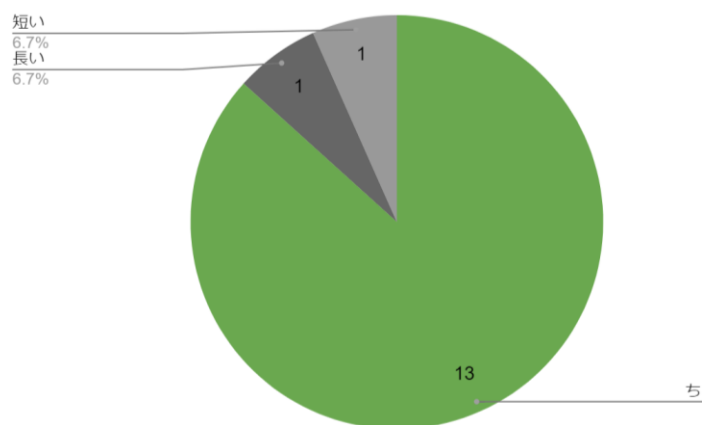
研修1



研修2

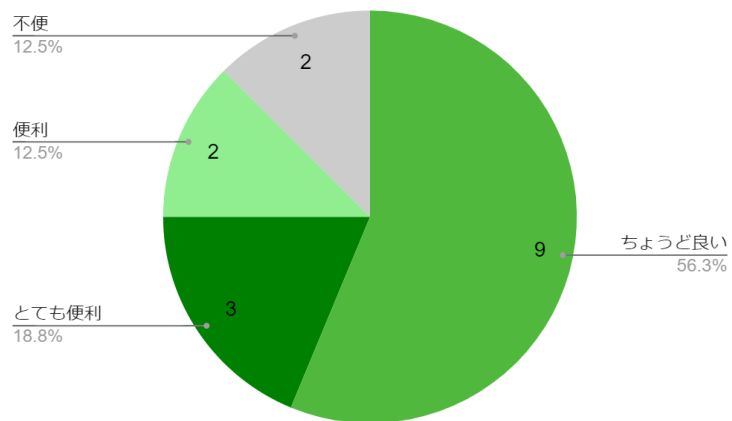


研修3

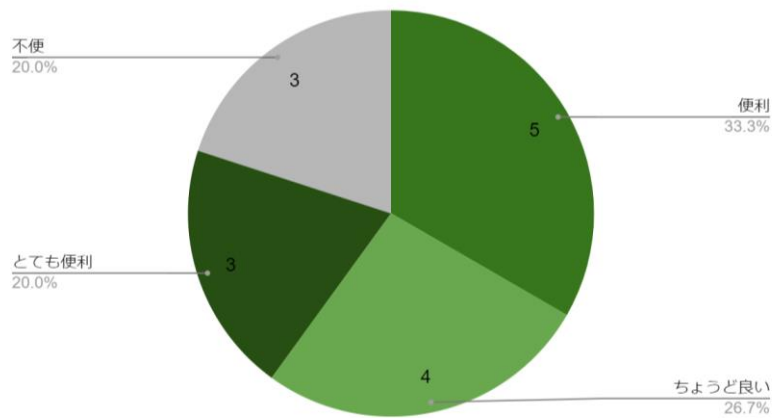


2b. 今日の開催場所はいかがでしたか。

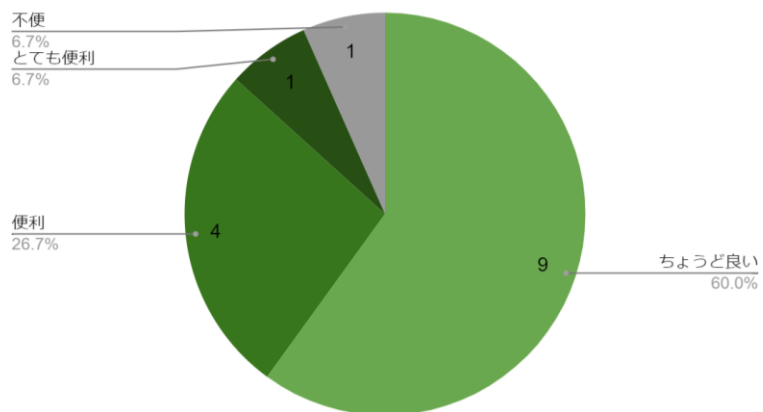
研修1



研修2

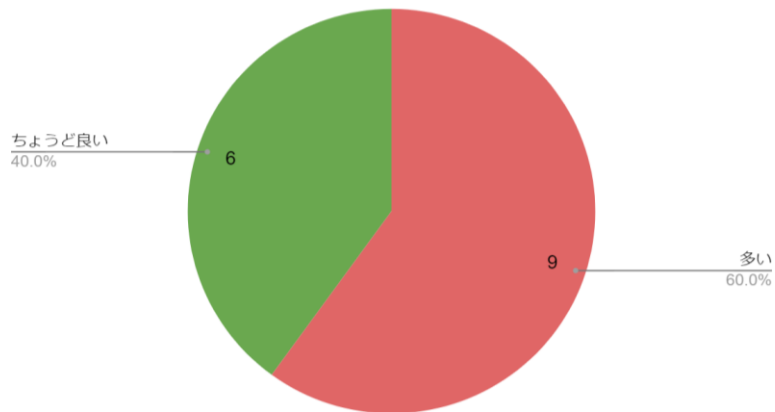


研修3

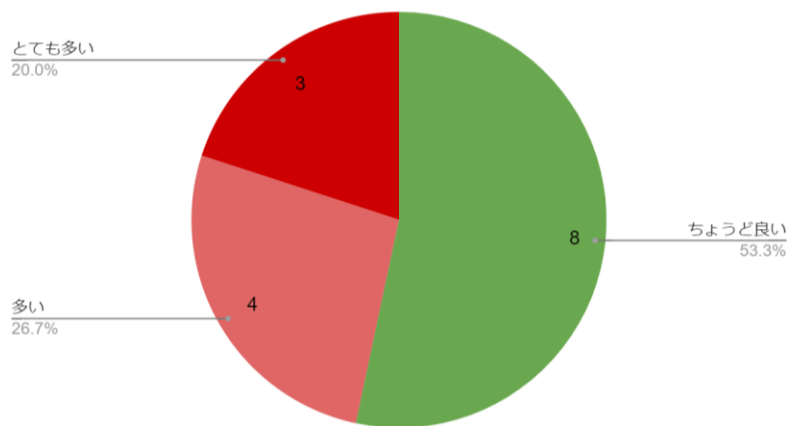


2c. 今日の研修の事前学習の量はいかがでしたか。

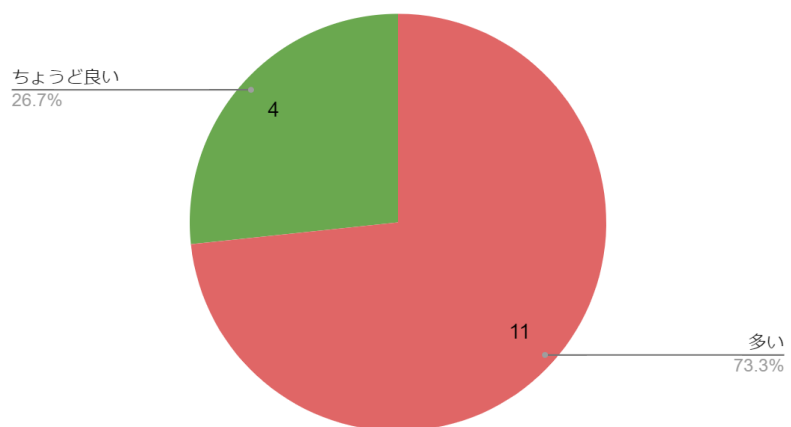
研修1



研修2

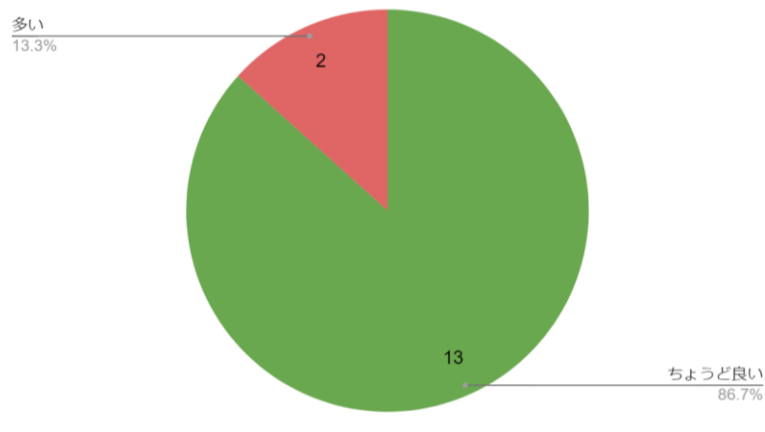


研修3

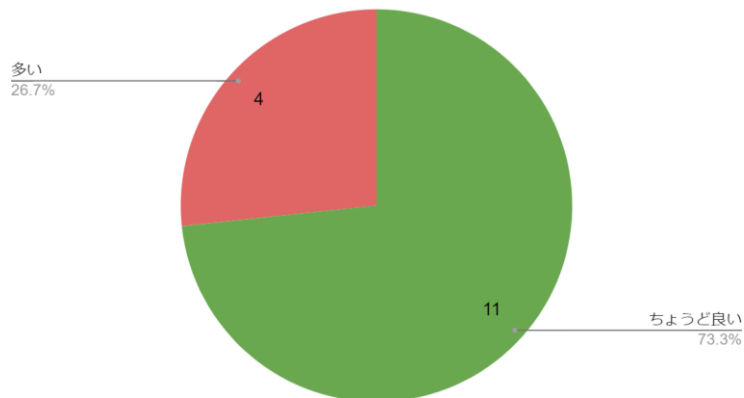


2d. 今日の研修で扱った学習内容の量はいかがでしたか。

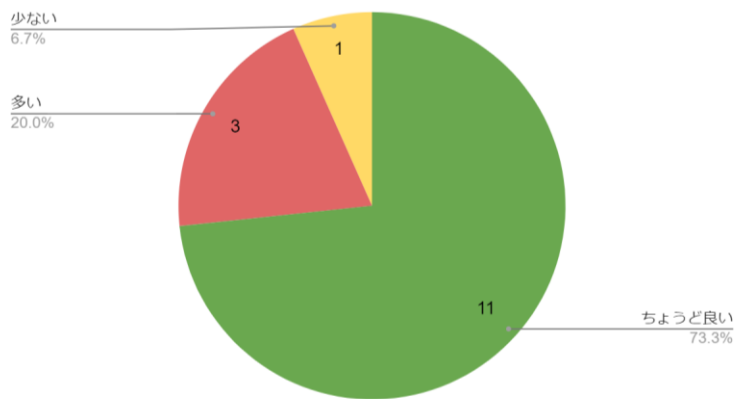
研修1



研修2

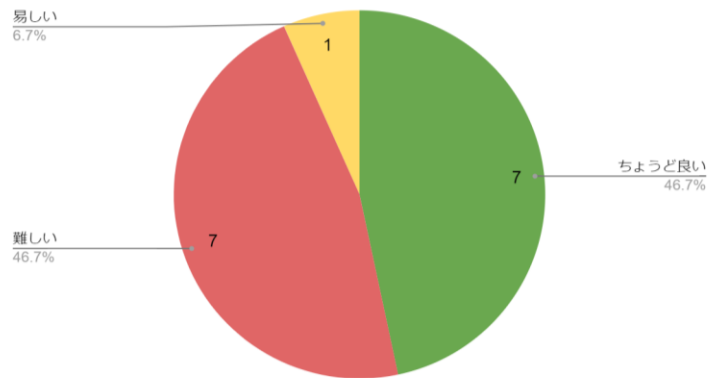


研修3

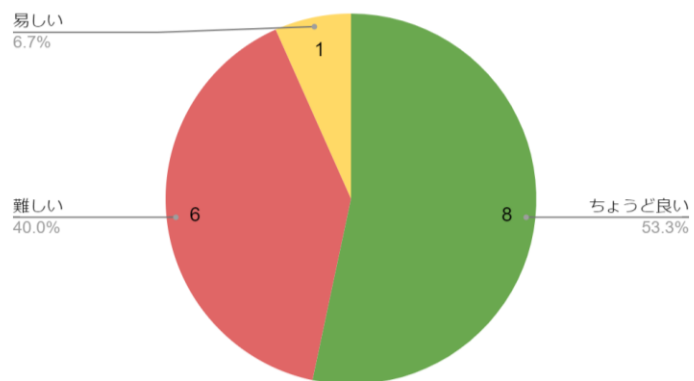


2e. 今日の研修で扱った学習内容の難易度はいかがでしたか。

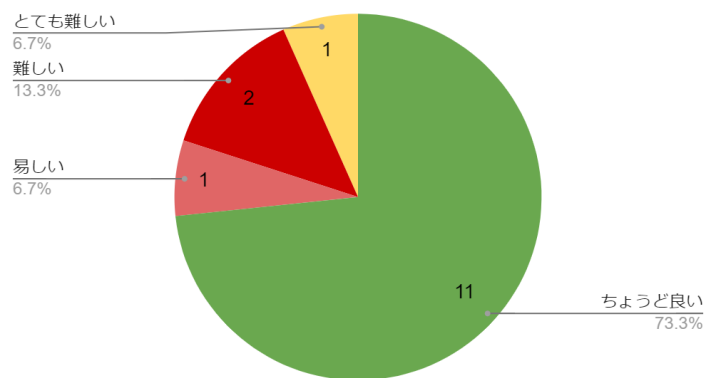
研修1



研修2

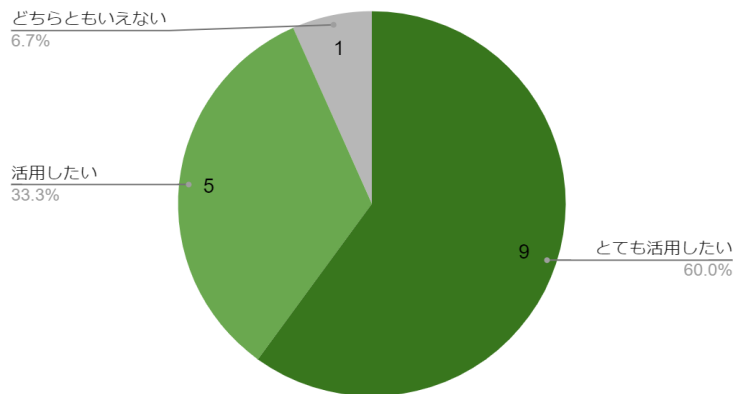


研修3

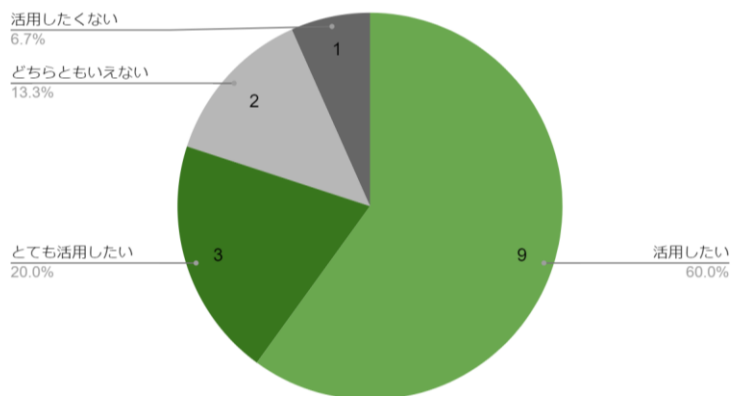


2f. 今日の研修で学んだ内容を自校の授業改善支援に活用したいですか。

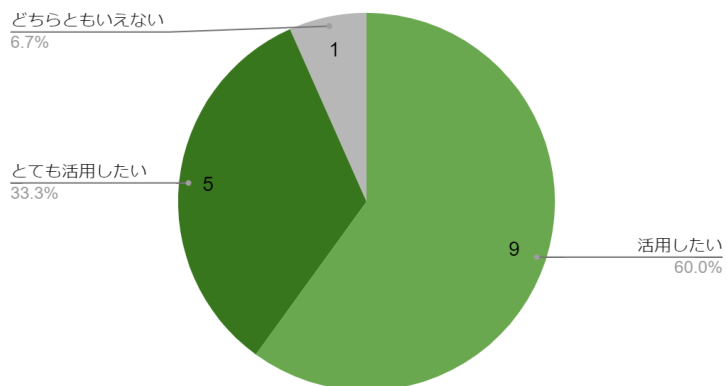
研修1



研修2

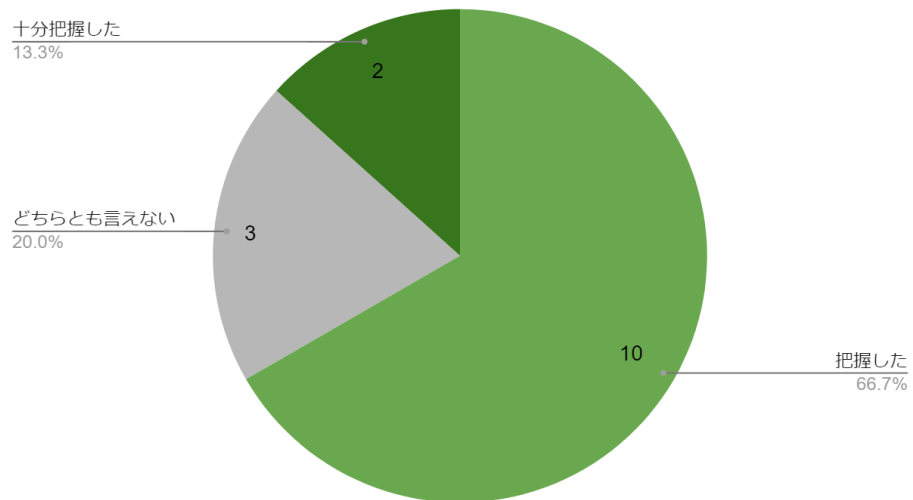


研修3

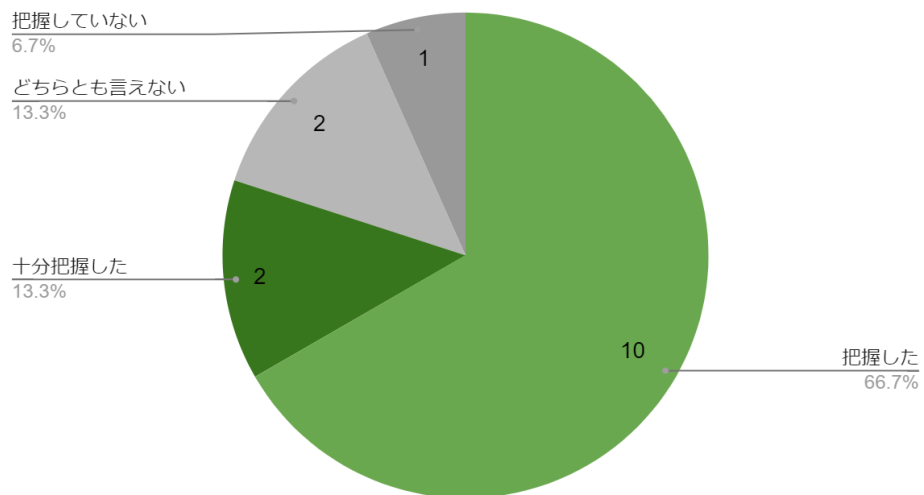


2g. 次回の研修までにやることを把握できましたか。

研修1



研修2

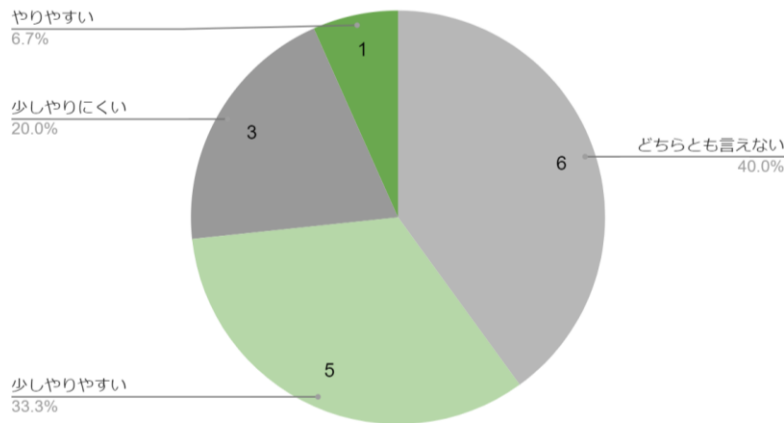


研修3

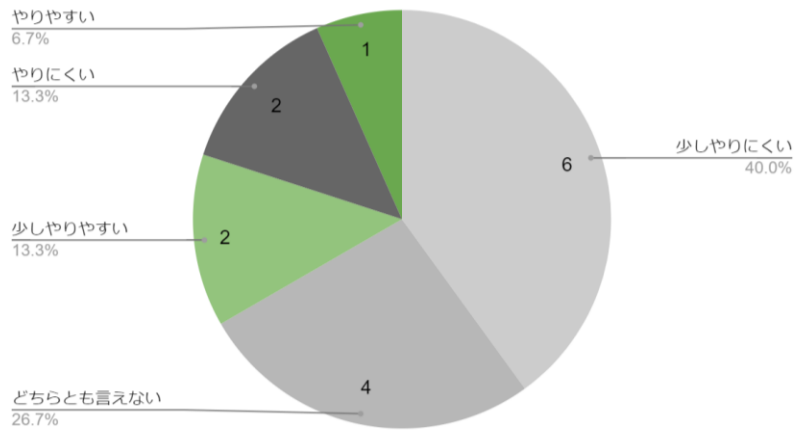
N. A.

2h. (研修1、2の設問) 学習管理システムの掲示板を使ってコミュニケーションをとることについてどう思いますか。

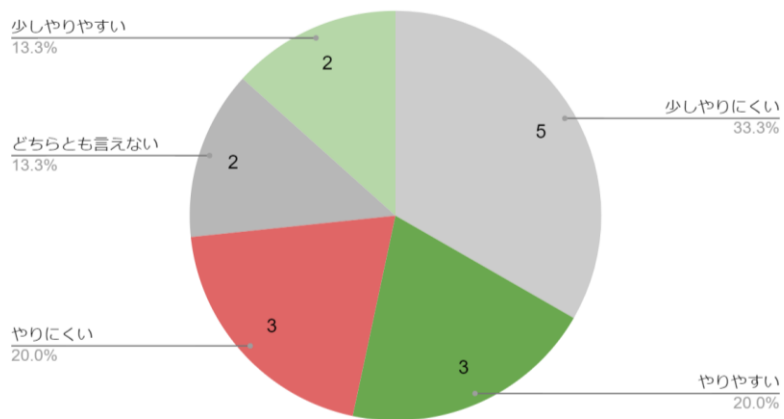
研修1



研修2



2g. (研修3の設問) Discordを使ってコミュニケーションを取ることについてどう思いますか。



3. 今日の研修についてよかったと思う点を2つ以上書いてください。

研修1

他者の意見を得られたこと

- : 他校の意見が聞けた学習のきっかけになった
- : 自校の課題と他校の課題の共通点、グループワーク
- : 他校の取り組みを知ることができた
- : グループワークにより、自分の事前課題を知ることができた
- : 対面であったことコミュニケーションが取りやすく色々な情報交換ができた
- : 相手と話し合いをする時間が取れる
- : 他校の方と情報交換が出来た
- : 他校の方の取組みを聞いて興味が惹かれた事
- : 他部門の方の意見を聞けたので、理解の幅が広がった
- : 他の先生の分析を学ぶことで、新たな視点を得ることも、自分の考えに自信を持つこともできた
- : 他の先生方の意見や考えが聞けて良かった

事前学習により理解が深まったこと

- : 事前学習があったこと研修が有意義になった
- : 事前に前提知識について学ぶための研修になっており、対面研修で意図を汲んで取り組む事が出来た
- : 事前勉強した内容を、自分たちも体験していること
- : 知識の再確認、問題意識

授業改善方法を理解したこと

- : 自身や組織の授業計画について見直す機会になった
- : 授業改善におけるリソース確認が出来た
- : 自校の提案に活かせると思った事

対面研修を理解したこと

- : IDの視点について再確認出来た
- : 説明を聞くという研修とは違い、自分で伝える
- : 授業手法について学べた受講者が主体的に学習する授業はどのような方法があるかを実感した
- : 主体的な学習方法を自ら体験できた

- : 知り合いが増えた悩みが共有された改善する方法が見つかった
- : 教授法や、評価方法、目標設定など有益な情報を得ることができた
- : 他校の具体的な改善方法を知ることができた
- : 新しく他校の先生と知り合うことができ情報交換が今後もできるのはありがたい
- : 直接対面で話し合うことができた
- : パズル形式?である分野について知っているのがグループで自分だけということ

研修2

新しいツール (Discord) を使えたこと

- : 新しいツールを使えた。
- : あまり使わないDiscordを使えた
- : 最初のペアワークとコミュニケーションツールでディスコを使用したこと

オンラインでの実施だったこと

- : オンラインでの実施で参加できたこと
- : 学校から受講が可能だった

グループワークへのモチベーションが上がったこと

- : チームで活動する目的が見つかった。
- : グループでの課題共有と、グループでの継続的な課題提供 (ツール開発)
- : 他校の先生と協力して物事を進める経験ができる
- : 1月頑張っって取り組んだことを仲間に認めてもらえたこと

他者の意見を聞いたこと

- : 他の学校の意見が聞けた。問題点を認識出来た
- : 同じ問題を抱えている他学園の方とお話しすることができたこと
- : 自分にとっては吸収するところが多かった。
具体的には他校の状況を知ったり、他校の先生の考えを知ることができ刺激を受けた。
- : 研修に参加された方々が、自分と同じく試行錯誤していることを実感し、
励みとなった。
- : 他の学校の先生方と情報共有できたこと
- : 他校の状況が分かった。そこからヒントを得ることができた
- : 他の受講者の課題の進捗状況が知れてよかった。
- : 先生方の意見が共有できた、様々な手法を聞く事が出来た。

授業改善方法を理解したこと

- : 授業内の色々なシチュエーションで異なる評価を組み合わせてツールを組み合わせれる事を考えるきっかけになった。
- : 授業改善の手法について示され、今後の道筋が見えた。
- : 授業改善報告について、各グループの発表後に合田先生がお話くださる総括がためになった。
- : 取り組んでいる内容が今後につながる点、
学生および教職員のどちらにも効果的な取り組みである点
- : 合田先生のフィードバックが勉強になった。
進捗の違う学生に対しての対処法や、優先順位について
実践可能な計画を無理せず立てる事が実現につながる事を実感した。
- : 自分を見直す事から始めて良いと分かり安心した。
- : サポート業務の展開について難しさが共有されたが、
いくつかの解決するための取り組みもみつかった。

研修3

他グループの成果物から学べたこと

- : 他のグループの成果を聞くことができた
- : 他のグループの評価ツールなど学びが多くあった。
- : 各グループが作成したサポートツールが非常に参考になった。当校でも取り入れたい。
- : 他グループの授業改善ツールについて提案を聞いたこと
- : グループの皆さんの取り組み内容がわかり、参考になった
- : 他のグループの評価ツールなど学びが多くあった。
- : 他のグループの成果を確認できたこと。考えの幅が広がりました。

成果物を作成できたこと

- : グーグルドキュメントの利用。各グループが作成したツールの発表。
- : 成果物を作成出来たのが良かった。

他者の意見を聞いたこと

- : グループワークで多くの気づきがあった
- : グループディスカッションで他の先生方にも共通の苦勞があったことを聞いたこと

- : 様々な先生方とコミュニケーションを取り色々な情報を得ることができた。
- : 改善の知識が得られた・他校の先生方と意見交換が出来た
- : 各グループの取り組み事例について参考になった。
- : 他学園の教員の皆さんと情報共有できたこと、
繰り返して課題等を実施することで研修の大切さを改めて感じる事ができた
- : グループワークを経てメンバーとの凝集性が高まり、お互いに刺激を与え合えた
- : 前回と同じ研修グループだったので、ディスカッションがしやすく、
後日談も話せてよかった。
- : グループ内で助けを借りながら前回より積極的に参加できた。
- : 参加者との共同課題作成 参加者同士のコミュニケーション

授業改善方法を理解したこと

- : コマシラバスや授業アンケートにしてもどのように工夫するべきか参考になった。
- : 知識が増えた。学生体験が出来た。
- : 改善を進めることの苦勞ありきで推進していくことによる結果の重要性を知れたこと。
- : 授業改善に向けて、色々な施策が行われていることを知れたこと
- : シラバスについて再考する機会となった
- : 授業改善活動の進め方が見えてきたこと。
- : 合田先生のフィードバックの中に具体的な方法があり勉強になった

4. 今日の研修について、今後は改善できると思う点を、具体的にどのようにすればいいかという提案とともに、2つ以上書いてください。

研修1

事前課題の改善点

- : 事前課題がわかりにくかった
事前課題にもう少し早くアクセスできる様にして欲しかった
- : 事前課題の配布にもう少し余裕がほしい
- : 初回の課題提示、詳細がもう少し早いと準備しやすかった
- : 想定時間が見えたら、業務との調整がしやすかったと思われる
- : 宿題の量があるよ！って大々的に教えてもらえれば、もっと気合を入れて取り組めた…
- : 事前学習がどこまですればよいかわかりにくかった
- : 事前学習の内容について、どれぐらいの時間を要するものか計れず、
かなりの時間を要した
- : 事前課題の内容が自分に把握できていなかった

- : 事前学習に取り組める期間をもう少し早くしてほしい
- : もう少し時間をかけてやってもいい内容だと感じました

研修時間の改善点

- : 時間があつたらもう少し深くまで討議することが可能だったのでと感じた

具体例（実践）の改善点

- : モジュールに対する実際の学校の取組みの効果的な例などが知りたい
- : 現在行っている授業アンケートの活用法を他校の事例を交えて学校に持ち帰り提案する

授業構成の改善点

- : 全体的にふんわりとしていて何かを「掴んだ」という実感が今のところない
- : 事前課題の各校の現状の分析について、もっと時間をかけて、解像度を高めていき、どんな活動ができるか、アクションプランまで落とし込むところまでやってほしい
- : プライドの高い方、他者からの支援に懐疑的な方とどのように関わりサポーターの技能を上げるかを知りたい

他グループとの交流の改善点

- : 同じグループでは無い方が良いかも
- : 他のグループの先生と話す機会もほしい

模造紙&メモの改善点

- : せっかく準備して頂いた模造紙やポストイットをうまく活用できず勿体なかった
初めにこれを使うワークがあれば、その後も使用したかもしれない
- : 模造紙は必要あったのでしょうか？必要性は特に感じませんでした
- : 問題点を付箋に書くという取り組みは、いいのだけれど、その時間がもったいなくてできないな…

研修2

Zoom運営上の改善点

- : 参加者が着座したか聞くなんすと良い
- : 講師のコメント力に感服いたしました。メモを取っていましたが、追いつかないところがありました。

ポイントが後ほど出てきたこともありましたが、チャットで共有していただけたら、助かるかもしれない。

- : オンラインは厳しいとも感じた。最後、纏めるには時間が少なかった。
- : オンラインでの受講は、機材の不具合（音声、ログイン等）があると、スムーズに進めず、会場実施よりも受講しにくさを感じたが、一度経験したため次回は問題なく進められると思う。
- : 時間管理が難しかった。1人10分の報告×2, ×3など、報告への質疑をしていると話が尻切れになったり、話がまとまらなかったりとやりとりが半端で終わった印象を持った。
- : タイマーが表示されると尚良い（あるいは、手元にタイマーを準備するなど…）。
- : 後半ブレイクアウトルームに間違えて入ってしまい、状況が分からない場面が分からず聞き逃してしまった際、今出ている指示がチャットに上がっていると助かると思った。
- : 全体に先生が問いかけている場面でチャットを活用をすると質問もでやすいと感じた。

Discordの改善点

- : Discordに初めて触れる受講生も多いと思います。中には苦手意識を持っている方もいらっしゃると思いますので、もう少し機能の説明があるとうれしいです。私は好きな方なので使い倒すと思います。
- : Discordは絵文字も多く、仕事として使うには支障がある。一緒に取り組む先生に連絡をとる時に、掲示板に書き込みをするのは恥ずかしくないがDiscordは恥ずかしい

事後課題についての改善点

- : 課題提出は他人ののを見ようとすれば見ることができますが、それはよいことなのでしょうか？他人のものを真似て作成する人も出てきそうな気がします。見れなくしてもよいと思いました。

具体例（実践）の改善点

- : 詳細な参考を常に見れると良い

授業構成の改善点

- : 時間の大半で知識や事例の学習がしたい・主催者、有識者からの改善案等のフィードバック

- : 早い展開についていけるように振りかえりたい。自分の意見が発信できるようにする。
- : グループワークの時間をもう少し長めに設定して頂くとよかった。
結構盛り上がっていましたので。

研修3

オンラインツールの改善点

- : Discordや、web上の資料共有などで小さなトラブルが散見され、
スムーズな受講の妨げになっていたため、研修は原則対面が良い。
- : 本講座に関わる書籍など資料をさらに加えていただけると有難いと思った。
- : グループミーティングでDiscordはチャットしか利用できず、
ZOOMを利用しました。
原因がわかればと思います。
- : 他グループの発表に対してより気軽に感想を言えるような仕組み
(チャットに書き込むなど)
- : 1回目の研修会場のWi-Fi電波状況が悪く資料共有がしづらい、
- : また、十分に充電しているPCを準備してきたが、
2時間過ぎたあたりから充電が無くなり、
会場に電源ケーブルがなかった為、席移動をし、充電の確保が難しかった。
- : 時間に限りがあるため、資料の場所が分からなかったり
グーグルドキュメントに入れないメンバーがいたときに時間のロスになる。
- : 最初に説明があり準備できた状態でスタートしたい。

時間に関する改善点

- : 年末年始は時間の確保が難しかった。
3回目の講座は少し時期をずらしてもよかったと思った。
- : 組織として、授業改善計画を年間で考える

事前課題に関する改善点

- : 事前に確認する為、研修配布物の配布を当日ではなく早めにいただきたかった。
- : グループ課題。時期。

授業構成の改善点

- : 組織の中の提案について、ここに絞って議論する機会があっても
面白いかもしれません。

- : 知識習得：事前の繰り返し／報告できる内容を充実させる：個人の課題
- : 一方的ではなく、お互いにチェックツールを使用しコマシラバスを評価したり、授業評価をおこなうことでお互いに気づき改善できる体制を作る。
- : モジュール学習の力試しがとても難しいです。各項目について1回しかチャレンジ出来ないとのことで、努力と真剣さが試され、緊張感があってよいのですが、最終的に解き直しが出来ると不全感が残らず良いです。
- : コマごとに何を達成すかを明確にした評価の実施ができるようにする。
- : 発表の際、同じ先生がすることが多かったのですが、色々な先生の発表を聞いてみたいと思ったので、今後はそのように割り振りできると良いと感じた。

5. 次回（研修2、3）に期待すること、やってみたいことを教えてください

研修1

他者との交流

- : お互いの意見が聞ければいいと思う
- : 皆さんの実践報告を楽しみにしています
- : アクションプランやレポートについて意見交換したいです
- : 同じ課題にあたる先生方がどのような実施結果を出されるのか、知るのが楽しみである

自校の授業改善

- : やりたかった内容に挑戦
- : 実戦で出来るように、自分自身の理解を深めて行きたいと思います
- : 授業改善サポーターの実践的内容からの見直し等
- : 授業力とはなにか？を考えて、評価表を作成してみたいです
- : 学校を超えて実施するので、指導立場にある先生の話聞くことが出来る環境がある

次回研修への要望（具体的な事例）

- : 実施した内容に対するアドバイスがほしい
- : より実践的な内容
- : 具体策、また今やっていない事のベストプラクティスが知りたい
- : 具体的な事例や方法を色々教えてほしい
- : 改善できれば良いが難しいモジュールについてディスカッションしたり、突破口になるような事例が知りたい

その他

- :とにかく、取り組む！
- :今回のように、発言しやすい雰囲気だと有難いです
- :取り組みを発表できるように頑張ります

研修2

Discordへの期待

- :何か形にできるようにしたい。これを機会に機会にも慣れ使えるようになりたい。

他者との交流

- :他のグループの成果物がたのしみ
- :各グループが開発したツールの発表を聞くことを楽しみにしています。
- :さぽーターのみなさんの知恵が集約されること
- :各グループの成果物が楽しみです。
- :ツールの開発について、他グループの結論を楽しみにしたい。

自校の授業改善

- :カリキュラム改善で学生数増、学生の就職先の向上
- :授業がよりよいものに変化できるようにしていけるようになれば良いと思います。
- :授業見学をする際に、どのようなことに気をつけるか、
どのような点に注意して見学するかを知りたい。
- :自分がどこまでできるのかわからないが、アドバイスするための体験と、
疑似体験を多くしておきたい
- :改善のための色々なヒントを得たい
- :現在実施中の授業改善サポートを継続し、例として学内に紹介したい
- :研修2のアクションプランで取り組んだないようを進めて行い、
アンケート結果と合わせてフィードバックできるよう取り組みたい。

次回研修への要望

- :オンラインでパラレルセッション

研修3

N. A.

6. その他、受講生として感じたことや思ったことを自由にご記入ください。

研修1

- ・取り組みに対して学校によってスキルや知見の差があることなど、他校が抱えている問題と自校が抱えている問題が異なる事が率直に面白いと感じた
- ・様々な観点からシラバスや授業展開など考える機会となりました
- ・大変勉強になりました自校で早急に取り組むべきことが見つかったような気がします
- ・受講する側の感覚を再度感じることができ気づきがあった
- ・事前課題を通して大事なことは3回行う重要性を体感できたことも良かった
- ・モジュールを分けてアウトプットする機会があったことは面白い授業にもこの形を活かせたらと思った
- ・楽しく研修ができました次回もよろしくお願いします
- ・授業改善サポートは必要と感じていたが、どうすればよいかわからなかった
- ・今回の研修を次の活動に繋げたいまずは仲間を増やしていきたい
- ・IDの振り返りが自分の中で不十分だったと思います
- ・次回は学習して参加します！
- ・研修会全体を通して、サポーターになるために、サポーターが持つべき基本的な知識を確認する1日でした

研修2

- ・学校が違うのでオンラインだと質問しにくい
- ・30分話し合いをしていて、軌道修正をする人がいないため、合っているのか間違えているのか不透明
対面ならすぐに修正されるが、リモートのむずかしいところ質問するほどでもないし、悩むところ
- ・今回はオンラインでしたが、グループ作業は難しかったです。
時間配分、記録係等、ふんわりはじめてしまったので、最後のまとめが上手くできませんでした。
- ・ついていくのが間に合っていないませんが、なんとか時間をやりくりして取り組みます。
- ・discord使いやすいです。
- ・講師のすべてが参考になる！ありがとうございます。
- ・各先生方工夫されて取り組まれており学習になった。また、使用ツールに共通点もあり今後のグループ課題作成についての方向性が決まったことがよかった。
- ・大学等での授業が改善の取組みの例や結果、学びを知りたいです。

- ・研修に入るのが遅れてしまいグループに迷惑をかけてしまったが、新しい知識を得たり使えるように頑張りたいです。

研修3

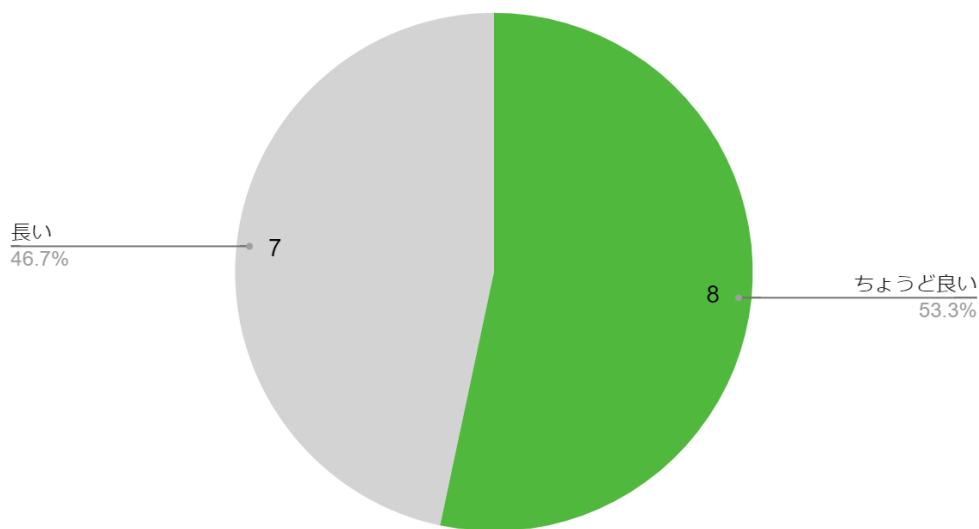
- ・回を追うごとに理解が進んだので、気づかないうちに多くの学びがあったと感じた。
- ・教員の成長に終わりなし、と感じました。向上心を持ち続けたいです。
- ・色々と先生方のご意見を聞いて勉強になった。
- ・改善サポーターとして相談する教員（本学園以外）と知り合えたことが最大の宝です。
- ・結局、Discordでメンバーとつながることはできなかった。
その辺りが不得手な方ようです。
- ・課題のWordの資料を開くこともできませんでしたので、
コミュニケーションを継続するというのが厳しいのかもしれないと感じます。
- ・相談のコミュニティーということ言えば、グループを越えて、
同じような状況の先生方と適宜つながればいいのかと思っています。
- ・自分なりに決められた時間の中で取り組んだつもりですが、
もっといいやり方があったのではと思いました。
各グループの取り組み事例については参考にさせていただければと思います。

- ・回を重ねるごとに、参加しやすくなっているのを感じました。
- ・共同でサポート開発などは初めて取り組みましたが、他校の先生とのやり取りの中で、
熱意のある姿勢を感じたり積極的に物事を進める推進力を目の当たりにし
大変刺激を受けました。
- ・前回よりは、研修内容についていけていたように思いますが、自己学習が
後回しになったり、苦手なパソコン操作でグループの先生に負担をかけてしまいました。
皆さんの発表を聞き、1つ1つの内容がつながってきたように感じました。
- ・しっかり復習して理解を深めていくことと、なにか形にすることで教員間の
共通理解につなげたいと思います。大変な自分自分の力になると信じて頑張ります。
- ・IDという研修は受講しシラバスを個人で作成することは、実施してきたが、
シラバスをよくしていくための取り組みや、
授業での評価の方法をかんがえる機会になりました。
- ・今後は研修で知りえたもの何かしら取り込み、
組織として実行に移す必要がありと感じました。
- ・忙しさを言い訳に、十分に取りくめたとは言い難いですが、
今後の授業改善に繋がるヒントを沢山得ることが出来ました。

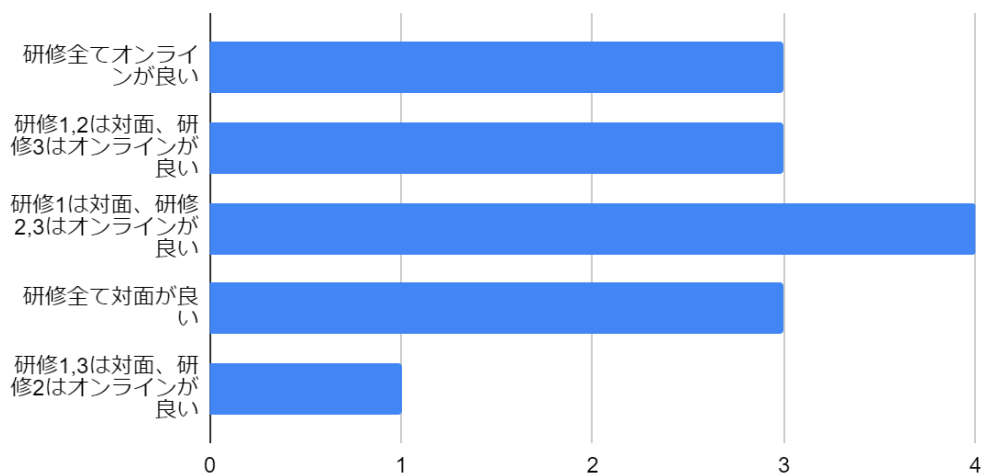
また、他校の先生方とつながれた事も財産になりました。

とても刺激を受けた3か月でした。

7. (研修3のみ) 研修1、2、3全体の期間(3か月)はいかがでしたか



8. (研修3のみ) 研修1、2、3全体の開催場所(対面&オンライン)はいかがでしたか



その他：1回目対面、2・3オンライン、総まとめとして4回目の対面を設ける

9. (研修3のみ) 8.のように思った理由を教えてください(集中力が持たなかった、コミュニケーションを取りづらかった、時間の融通が利いたからなど)

対面希望

- ：対面のコミュニケーションの方がより良い
- ：ネット回線の状況により声が聞きづらい時があった。
- また、コミュニケーションは対面のほうが取りやすい。

オンライン希望

- ：時間の都合がつけ易い。

- : 全ての回を同じグループで実施しない、1回目だけのグループ設定であれば、1回目から全てオンラインでも問題ないのでは無いかと思いました。
- : オンラインは移動時間も取らないため助かりました。
- : 最初と最後については対面で話をできたほうが理解度の向上に繋がるかと思いました。
- : 初回が福岡県にて開催だったのですが、群馬県からの参加だとコストが気になるため。
- : もちろん東京開催ならすべて対面が望ましいですが、オンラインでも十分なコミュニケーションは取れました。
- : 移動に時間がかかるため

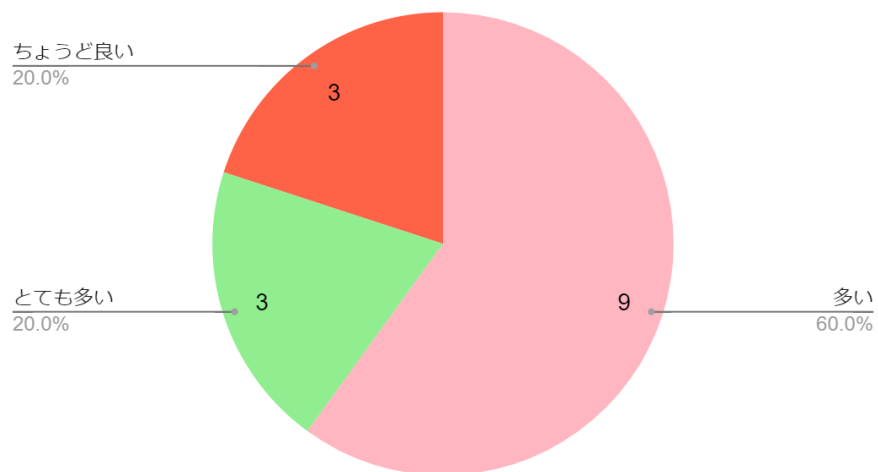
ハイブリッド希望

- : 合って話せばすぐに済むことが、時間がかかるので・・・
ただ、遠方から参加の方もいらっしゃることを考えると、3回とも対面は厳しいかと思い、どこか1回をオンラインと思いました。
- : 対面のほうが良いが、移動時間の確保やパソコン作業に慣れる面では2, 3対面でよかった。
- : 1回、顔早生できれば、移動時間と研修内容のパフォーマンスとしては十分出てると思う
- : 一度は対面で受講したいが、業務もある為ベースはオンラインが良い
- : 質問がしづらい、相手の表情が読めない 等、発表だけオンラインにしても良いと思います。
- : ツール開発のアイデア出しをもう少し時間をかけたかったです。
- : 研修2まではまだ操作に慣れずに議論を深めることができませんでした。
3回目はグループワークを含め、オンラインでも十分に議論することができました。

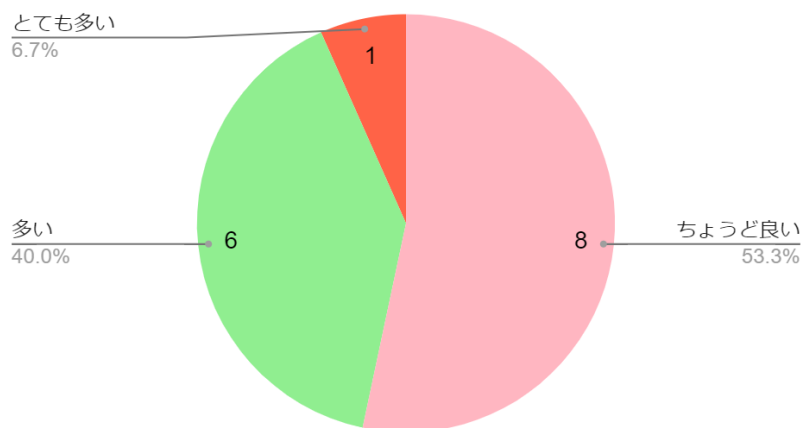
その他

- : オンラインシステムのおかげで、事前課題や学習は一人でもでき、グループワークもできましたが、最後に総まとめの回があっても良いのではないかと感じました。

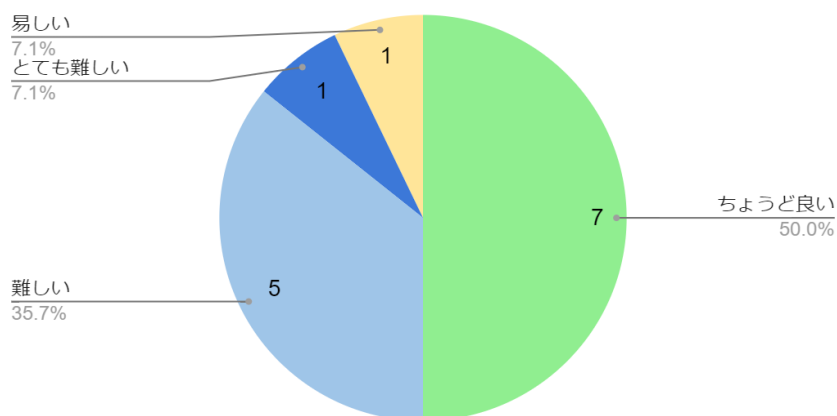
10. (研修3のみ) 研修1、2、3全体の事前学習の量はいかがでしたか



11. (研修3のみ) 研修1、2、3全体で扱った学習内容の量はいかがでしたか

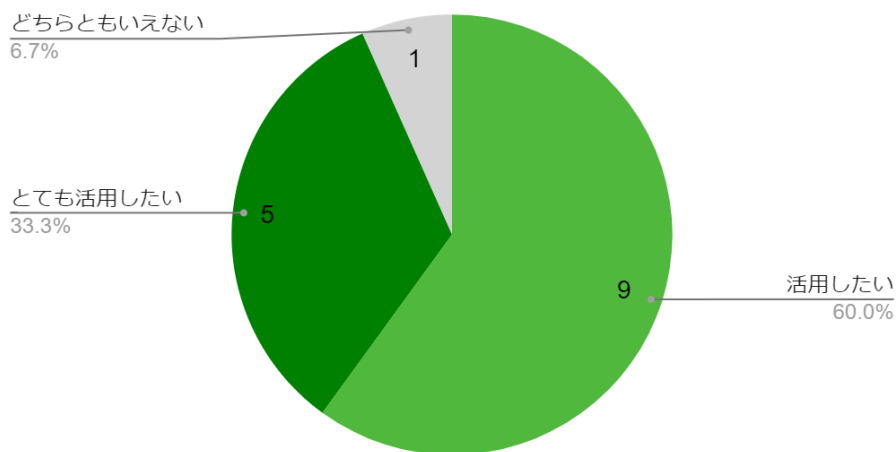


12. (研修3のみ) 研修1、2、3全体で扱った学習内容の難易度はいかがでしたか



その他：モジュールCが理解難しい、各モジュールの説明動画が欲しい

13. (研修3のみ) 研修1、2、3全体で学んだ内容を自校の授業改善支援に活用したいですか



14. (研修3のみ) 10. のように思った理由を教えてください

(難しかったから、自校の課題解決をもたらす内容だったからなど)

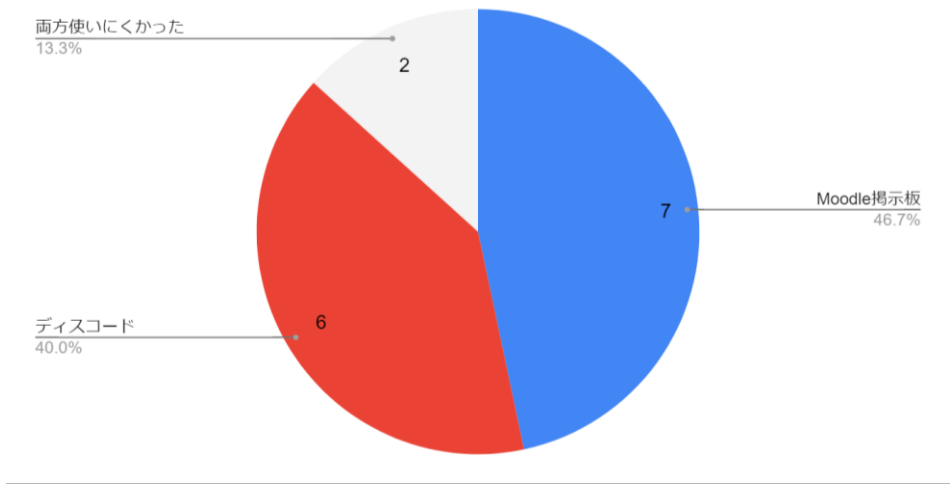
活用したい

- : 現在、授業改善支援がうまく行われていないから
- : 自校の課題だからです。
- : その為に研修を受けているので
- : すべてとは言わないが、取り入れることができるものもある。
よいか悪いかやってみないとわからない。
- : 学んだからには活用したいと考える
- : シラバス等も時期が立てばずれが生じて来ているところもあると思うので、
今回学んだ事を取り入れて軌道修正することも、必要だと考える。
- : 今のままでは、伝わりにくい、学生のためにならないシラバスだと気付いたから。
- : 授業改善支援については新任もベテラン教員についても必要と考えており、
今回学習した内容を少しずつでも活用できればと思ったため。
- : 学生が質が変化する中、授業改善は学校として大事な要素だから
- : この講座で学んだ内容は、とても具体的だったため、
自分の授業改善にも取り入れやすいから
- : 様々な評価の視点やツールを知ることができ、できることから活用したいと思った
- : 現状知り得ていることが全く通じず、研修を通じて、
評価方法などのことに関してアップデートする必要があると感じました。
- : 自分の授業展開について、日ごろから感じていた不満や不安を改善するヒントが
得られた。これを他の教員にも伝えたいと感じた。

どちらともいえない

: 実施研修的に行わないと効果が測定できない
: 難しいかった。

15. (研修3のみ) 研修1、2、3全体を振り返って、
Moodle掲示板とDiscordのどちらが使いやすかったですか



16. (研修3のみ) 研修1、2、3全体を踏まえて、研修全体でコミュニケーションを活性化・継続させるためのアイデアを教えてください (アイスブレイクの時間を増やした方が良い、など)

Discordの活用

- : Discordについてはコミュニケーション活性化につながっているグループとそうでないグループに分かれている気がしました。
- : 掲示板やDiscordのように、時間外に話ができるものが、確実に使えればいいと感じます。
- : 年末年始を挟んだためかわかりませんが、時期的な問題もあったかと思います。研修1からDiscordを用いた取り組みを入れたほうがよかったかもしれません。
- : Discordは感覚的に使いやすかったので初回から使えるようになると良いのではないのでしょうか
- : コミュニケーションの活性化について、難しいですね。グループワークだと話すけど、全体で意見が出ないのは、教員も学生も一緒ですね。お恥ずかしい限りです。

時間の確保

- : ブレイクアウトの時間にもう少し余裕があると良いと思った。特に初めの方。
- : グループワークの時間が短く、内容をまとめきれないが多かった。
- : 課題ワークの作成にあたって、時間あわせてコミュニケーションをグループごとに決めておくど研修に組み込んでおくほうが良いと思いました。
- : 先生の講義(教授)時間をより多くしていただけると有難い

アイスブレイク時間を増やす

- : アイスブレイクの時間はもう少し必要に感じました。(特にオンラインでは必要)
- : 時間が限定されておりいきなり本題に入らないと厳しかった。議論を深めるためにはアイスブレイクの時間もある程度入れてほしい。
- : アイスブレイクの時間はもう少し欲しいかと思います。

他者との交流

- : 懇親会(オンラインでもOK)を入れた方がコミュニケーションがとりやすい
- : 今回みたいな、ルームで分かれてのディスカッションはいいと思いました。
- : メンバーにより、活性具合がかなり違うと思う。ヤル気を引き出そうとしてもなかなか難しかったりするので・・・

: 大変かもしれませんが、対面で懇親会などがあるとより
コミュニケーションが活発化するかもしれません。

17. (研修3のみ) 研修1、2、3全体を通して良かった・役に立ったことを教えてください

モジュールから知識を手に入れたこと

- : 授業改善の知識が増えた (モジュール内での学び)
- : モジュールを勉強できてよかったです。
- : モジュール知識の習得
- : モジュールA・B・Cは気づきに繋がり今後授業およびシラバス作成においても役に立つと思います。
- : 教育工学を知り、モジュールの知識を得たこと
- : 研修の流れ自体が、今回学んだモジュールの内容を追体験出来るような流れだったので、理解と実感しやすかった。
- : モジュール学習で繰り返し取り組むことができた
- : moodleを利用した事前学習。ケーススタディがあり、ためになった。

授業改善に活かせること

- : 実際の自分の仕事としてとらえることでサポータ業務に役立った
- : 複数のコミュニケーションツールを体験できた。科内で難航していた計画が進んだ。
- : 授業改善に役立つ具体的な手法を知ることができた
- : つまらない、実にならない授業を改善していくことができる

他者の意見を聞いたこと

- : 他校の先生方と意見交換ができたこと。
- : 他校の先生との意見交換を通じて、置かれている状況は違えど目指している方向は同じだと感じることができ、モチベーションが上がった
- : アクションプランを実行したこと
- : アクションプランを提出することで、自分のやるべき内容を確認しながら次回講座までを過ごすことができた

内省・気づき

- : サポーターになってもらうのも、方法の一つである。最高のアドバイスでした。

: いいと思える価値観が、視点を変えてみないと価値や認識のずれが生じるので、必ず正しいと思わないで、視点を変えることが重要と思えた。

18. (研修3のみ) 研修1、2、3全体を通して難しかったことを教えてください

授業構成の課題

- : 1、2回目課題の内容がよく理解できなかった。
- : 自分の提出内容が正しいのか提出できているのかわかりにくかった。
- : 研修開始当初に到達すべき目標をイメージできなかった。
- : 初回の講座までの事前課題で、モジュール学習のやり方が分からず、あまり進んでいなかったため、ジグソーグループの時は、とても焦りました。

時間の課題

- : どう時間を捻出するかが難しかったです。休日がつぶれます。
- : 研修ごとの期間が1か月ほど空くこと、および業務との並行は厳しかった。
- : これは私の問題ではありますが、学校業務の傍ら事前課題を行うことが十分にできていませんでした。
- : 課題を行う時間の調整。日常業務に組み込むことに苦労した。

モジュール（特にC）の理解

- : 他の自校の教員を巻き込む事、モジュールが難しいと思いました。
- : モジュールc
- : やはりモジュールCの理解が難しい
- : モジュールで言えばABは何となくわかり、複合問題も合格できたが、モジュールCは合格できなかったし、理解したと思えていない。

実行上の課題

- : アドバイスする内容が「これが正解」という線引きがよくわからない部分がある。
- : コンサルタントとしての普及。結果を出していないコンサルタントの普及。
- : 学校の協力を得ることに苦労したため担当学科内で取り組む内容となった。
- : 自分の授業や公務で、業務時間をついやすので、周囲に対する働きかけの時間を確保するのが難しかった。
- : 実際の運用を考えると
- : 自校での情報共有が難しかった。

19. (研修3のみ) ご意見、感じたことなど自由にご記入ください

- ・ 今後に活かせる研修でした。この研修に参加したほうがよい教員はたくさんいます。
- ・ 受講を開始した当初は大変だという印象でしたが、終わってみるととても有意義な研修でした。
- ・ 総まとめとして4回目の対面があると、さらによかったかもしれません。ありがとうございました。
- ・ 初めて参加するには、全てがMoodleの画面上にあり、探したり、確認したり、理解したりというのが難しいと感じました。
- ・ LMSということ言えば、繰り返し学習ができ、実になったと思います。
- ・ 他の先生にもこの研修をすすめたいと思います。
- ・ 本講座を機会に今後研鑽を積みたい。

6. 令和6年度に向けた講座の課題点

事後アンケートの結果、研修1、研修2、研修3を通して見られた課題点として、以下を提示する。

1. 研修時期の課題

「年末年始は時間の確保が難しかった。第3回の講座は少し時期をずらしてもよかった」といった意見があった。さらに、研修によって「休日が潰れる」というコメントもあり、ゆとりのある研修スケジュールの組み立てが必要である。

2. 事前課題のアクセスと内容の課題

「事前課題が理解しにくかった」、「事前課題へのアクセスをもっと早くできるようにしてほしい」、「事前学習の内容を把握できなかった」といった声があり、事前学習の理解が難しい上、アクセスに時間がかかった受講生がいた。これは、事前課題の配布タイミング、内容の明確さ、事前学習の範囲と時間の案内が不足していたためである。また、モジュールCでは、「学習目標の高度化」に関する学習が扱われていたが、大学の事例の使用や、内容が抽象的であったのもあり「モジュールCが理解難しい」といったモジュールCの理解に困難を抱える受講生がいた。

3. 事前説明の時間不足

オリエンテーションをはじめとする事前説明が十分に行われていなかったため、研修中の講師の指示を一度で理解しきれない受講生がいた。アンケート結果によると、受講生は研修時間に満足していたものの、細かい説明を十分に伝える時間が少なかったのではないかという意見が委員から挙げられた。

4. 実践例と具体性の欠如

「実際の学校での取り組みの効果的な例を知りたい」との要求があり、理論だけではなく実践例の提供が求められている。特に、前述したように、モジュールC「学習目標の高度化」では、内容が抽象的であった。

5. 研修参加者の属性を汲み取り切れていない課題

本委員会では、受講生が講座を申し込んだタイミングで受講生の役職や肩書等の属性を把握していたにも関わらず、研修ではその属性を考慮しきれなかった。また、「自分の」授業を改善したい人と、本事業が目指す「授業改善サポーター」になりたい人が混ざった状態で研修が行われていた。

6. 組織レベルでの働きかけの欠如

授業改善サポーターとして個人が活躍した様子は見られたが、受講生が所属組織に働きかけ授業改善コンサルティングを実施するのは難しいという現状が見られた。

7. コミュニケーションと交流の不足

「他のグループの先生と話す機会がほしい」という要望があり、他グループとの交流機会が不足していることが明らかである。さらに、「発表の際、同じ先生が多くを担う」という指摘から、発表者の多様性の欠如が示されている。

8. オンラインコミュニケーションツールの課題

Moodle掲示板でのコミュニケーションが取りにくいという意見が多かったため、コミュニティ作成に特化したDiscordに切り替えた。しかし、受講生の中にはDiscordを使いにくいと感じる声や、Discordを使ったコミュニケーションに不便さを感じた受講生もいた。一方で、Discordを使ったことを研修の良い点として挙げる意見もあった。ここから、研修1（対面研修）にてDiscordの使い方を丁寧に教えた場合、Discordを使いにくいと感じる受講生が減るのではないかという意見が出た。

9. オンラインツールと設備の課題

「オンラインは厳しいと感じた」という声があり、Zoom、Moodle、Discordの運用、Wi-Fi環境、資料共有に課題がある。「研修の実施方法および開催場所（対面及びオンライン）」に関するアンケートでは、オンライン開催またはハイブリッド開催を希望する声が多く、オンライン環境でもスムーズに研修を進行させることの重要性が示された。

7. 令和6年度に向けた講座の改善点

令和6年度に向けた講座の改善点として、以下を提示する。

1. 研修時期の再検討

研修2、研修3は年末年始を挟んでおり、課題時間の確保が困難であった受講生がいた。そこで、研修時期を夏頃に変更し、研修全体を年内に終了させるスケジュールを組み、余裕をもって研修に臨めるよう調整する。

2. 事前課題の提示時期の前倒しと内容の見直し

研修1、研修3において、事前課題に関する改善点が指摘され、研修全体を通して時間の捻出が難しいという課題があった。そこで、事前課題の提示時期を前倒しすることで、時間に余裕をもって課題に対応できるようにする。

また、モジュールCをはじめ、今回用いた事前学習の事例は全て大学教育の事例であった。そこで、専門学校的事例を加えて事前課題内容をより身近な例にすることで、内容改善をする必要がある。それ以外にも、各モジュールの動画教材化や要約文の配布などの改善をすることも検討したい。事前課題の提示時には、一定期間のサポート期間を設け、不明点に回答する機会を提供することも検討する。

3. 研修時間・研修フレームワークの再検討

令和5年度における「教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進」に関する議論では、コミュニティ活性化のために研修時間を改めて検討し、研修フレームワーク（研修回数や頻度、内容、研修講師の必要条件等）を調整すべきという意見が出た。また、研修回数を増やす過程で、事前学習の取り組み方や研修目標の明示、グループメンバーの顔合わせといったオリエンテーションを実施する必要があるとの意見も見られた。その際は、事前課題・研修当日・事後課題にかかる時間も考慮する必要がある。

4. 養成講座の対象者の精緻化

参加対象者の属性を考慮し、研修を組み立てる必要がある。また、参加対象者を明確にし、参加時には上司からの推薦状を求めることで、動機付けを高めるといった施策を行うなど、より受講生の要件定義を精緻化することで、本事業が想定する養成講座の対象者を募る必要がある。また、自分の授業を改善したい教員ではなく、授業見学等を通して他教員の授業を改善したい教員の募集を引き続き行いたい。

5. 組織的なバックアップ

全国専門学校教育研究会が率先して受講生が所属する学校に授業改善サポーターの重要性と役割について働きかけを行うことで、授業改善サポーターとしての活動を実施しやすくなる環境づくりを補助する必要がある。

6. グループ学習の積極的な取り入れ

研修を通じて、グループワークを通して他校の意見を得ることに研修の意義を感じる受講生が多かった。令和6年度の研修でも、グループ学習を積極的に取り入れ、学校間の垣根を超える授業体制を実施する。ただし、グループ学習時には、講師がワーク内容を丁寧に解説することが重要である。

7. オンラインコミュニケーションツールの選定

研修1でのMoodleの使用に関する不満や、研修2、3でのDiscordの活用についての意見が分かれるなど、オンラインコミュニケーションツールの使い勝手に課題があった。今後使用するオンラインコミュニケーションツールについては、改めて検討を行う。また、オンラインコミュニケーションツールが確定した場合、第一回の研修にてレクチャーを実施する。

8. 学習環境の整備

対面授業実施時に、充電コンセントの不足により、一部の受講生がPCを使用できない時間があった。また、研修1では、模造紙やポストイットの使用が効果的でなかった受講生がいた。そこで、充電コンセントの増設や、模造紙やポストイットの活用方法の伝授など、学習環境の整備が必要である。さらに、Zoomを使用した研修でも、チャットツールの活用促進や機材の不具合チェックを事前に行うことが求められる。

9. 研修の評価設計の精緻化

コミュニティの活性化状況は、令和6年度のフォローアップ研修で評価するものの、研修実施の結果、授業改善サポーターが育成されているかの評価方法が限られているのが現状である。令和6年度のフォローアップ研修や、教職員の上長による研修成果の評価システムの設置など、評価設計の精緻化を検討する。また、講座の結果、授業改善サポーターとしてのスキルを身につけられたかどうかも確認する必要がある。

10. 令和5年度の講座参加者から各校での授業改善事例や課題を収集する

前述した通り、授業改善サポーター養成講座にて用いた各モジュールは、大学の事例が活用されていたため、教員によっては理解しづらかった可能性がある。そこで、令和5年度の講座参加者から各校での授業改善事例や課題を収集することで、専門学校の事例に即したモジュール開発を実施することで、講座改善をしたい。

11. コマシラバスの書き方（ガニエの9教授事象、学習目標の明確化）についての授業内容を取り込む

本講座は「インストラクショナルデザイン（以下、ID）」に関する基本的な考え方が身についている教員を受講対象者として見立てていたが、実際にはID（特にガニエの9教授事象、学習目標の明確化）の理解が浅い受講生が見られた。授業改善サポーターとして若手教員のコンサルテーションをする場合は、コマシラバスの書き方から他教員への指導をする必要があるため、コマシラバスの書き方（ガニエの9教授事象、学習目標の明確化）は詳しく授業内容に取り込みたい。

12. 講座の汎用化・標準化を実施する

本講座を汎用化・標準化するために、講座の講師に必要な資質を定義しなおし、要件を満たした教員であれば誰でも実施可能な講座にする必要がある。

以上